

(19) 世界知的所有権機関  
国際事務局(43) 国際公開日  
2002 年 12 月 5 日 (05.12.2002)

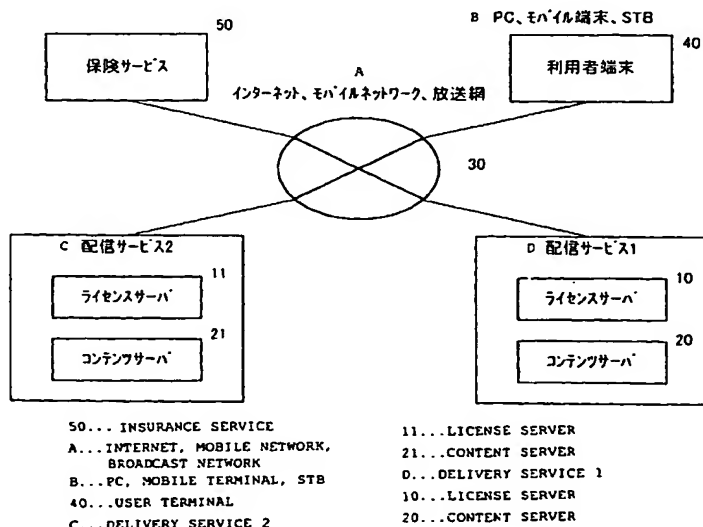
PCT

(10) 国際公開番号  
WO 02/097694 A1

- (51) 国際特許分類<sup>7</sup>: G06F 17/60 (SUGIURA, Masataka) [JP/JP]; 〒158-0082 東京都世田谷区 等々力 2-19-8-301 Tokyo (JP). 塚本 義弘 (TSUKAMOTO, Yoshihiro) [JP/JP]; 〒144-0046 東京都大田区 東六郷 2-20-5-716 Tokyo (JP). 寺崎 智 (TERASAKI, Satoshi) [JP/JP]; 〒194-0022 東京都町田市 森野 2-10-17-105 Tokyo (JP).
- (21) 国際出願番号: PCT/JP02/05177
- (22) 国際出願日: 2002 年 5 月 29 日 (29.05.2002)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:  
特願 2001-160803 2001 年 5 月 29 日 (29.05.2001) JP
- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 松下電器産業株式会社 (MATSUSHITA ELECTRIC INDUSTRIAL CO., LTD.) [JP/JP]; 〒571-8501 大阪府門真市 大字門真 1006 番地 Osaka (JP).
- (74) 代理人: 鷺田 公一 (WASHIDA, Kimihito); 〒206-0034 東京都多摩市 鶴牧 1 丁目 24-1 新都市センタービル 5 階 Tokyo (JP).
- (81) 指定国 (国内): CN, JP, KR, US.
- (84) 指定国 (広域): ヨーロッパ特許 (AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE, TR).
- 添付公開書類:  
— 国際調査報告書
- (72) 発明者; および
- (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 幡野 浩司 (HATANO, Kouji) [JP/JP]; 〒134-0088 東京都江戸川区 西葛西 3-9-35-901 Tokyo (JP). 杉浦 雅貴
- 2 文字コード及び他の略語については、定期発行される各 PCT ガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

(54) Title: INSURANCE SYSTEM

(54) 発明の名称: 保険システム



(57) Abstract: An insurance system assuring redelivery of permission data delivered electronically. When a user buys the insurance, the user acquires the right to receive redelivery. Thus, it is possible to realize the insurance system for smoothly performing redelivery of a content which has been electronically delivered via a network. Moreover, by receiving redelivery via an insurance service server, management of the redelivery can be performed independently by the insurance server, which can prevent unauthorized redelivery.

WO 02/097694 A1



---

(57) 要約:

電子的に配信する許可データの再配信を保障する保険システムにおいて、保険への加入を条件に、再配信を受ける権利が発生するように構成することにより、ネットワークを通じて電子的に配信したコンテンツなどの再配信を円滑に実施する保険システムを実現することができる。また、保険サービスサーバを介して再配信を受けるように構成することにより、再配信の管理を保険サービスサーバにおいて独立して行うことが可能となり、この結果、不正な再配信を防止することができる。

## 明 細 書

## 保険システム

## 5 技術分野

本発明は、ネットワークを通じて配信されたコンテンツなどが誤消去などで失われたときに、その再配信を保障する保険システムと、そのシステムを構成する装置、並びにそれを実現するための処理プログラムに関し、特に、マシンクラッシュや誤消去によりコンテンツを喪失することへの利用者が抱く不安を解消するものである。

## 背景技術

近年、ネットワーク（有線、無線、放送）を通じて、利用者端末に音楽コンテンツを配信するサービスが普及の兆しを見せている。

15 この音楽コンテンツ配信サービスを行うシステムは、図1に示すように、暗号化した音楽コンテンツをネットワーク30を通じて配送するコンテンツサーバ20と、コンテンツの利用条件情報やコンテンツの復号鍵をネットワーク30を通じて配送するライセンスサーバ10と、購入したコンテンツとそのライセンス情報とを受信し、コンテンツの復号再生を行う利用者端末40と、購入したコンテンツを蓄積するハードディスクやメモ리카ードなどの蓄積メディア  
20 45とを備えている。

このシステムでは、利用者が購入した音楽コンテンツが暗号化されてコンテンツサーバ20から、また、この音楽コンテンツの暗号化を解く復号化鍵やコンテンツ利用条件を規定する情報がライセンスサーバ10から、それぞれ利用  
25 者端末40に送信される。利用者端末40では、受信した音楽コンテンツを蓄積メディア45に蓄積し、利用者の再生指示に基づいて、暗号化されている音楽

コンテンツを復号化鍵で復号化して再生する。利用者は、利用条件が許す範囲で、購入した音楽コンテンツを繰り返し再生することができる。

また、配信するコンテンツやライセンス情報を、利用者端末や蓄積メディアの属性情報（SD鍵、端末証明書、PCのシリアルNo.等）で個別に暗号化  
5 して利用者端末に送信し、他者による不正利用を防ぐことも行われている。

また、利用者端末がライセンスを受けるために代金を支払うと、配信サーバ側が、課金と引き換えに電子領収書を利用者端末に配送するシステムも考えられている。

しかし、従来のシステムでは、利用者が蓄積メディアに蓄積した音楽コンテンツを誤って消去したり、マシクラッシュにより音楽コンテンツが消滅した場合に、救済手段が無く、そのため利用者は、その音楽コンテンツを再度購入しなければならず、こうした点がコンテンツ等を電子的に配信するサービス  
10 に対して利用者が抱く大きな不安となっている。

それでは、コンテンツ配信事業者が利用者の要求に基づいてコンテンツやライセンスの再配信を実行すれば問題が解決するかと云うと、そうでも無い。コンテンツ配信事業者が再配信に無料で応じる場合、大きな経済的負担をコンテンツ配信事業者に強いることになる。また、コンテンツ配信事業者は、再配信のための特別なサブシステムを開発・導入することが必要であり、そのための資金を調達しなければならない。

20 また、コンテンツやライセンスの紛失を証明することは事実上困難であり、利用者の事故報告の真偽が確認できない。そのため、虚偽の事故報告に基づいて再配信を受ける不正利用が頻発する虞れがある。

また、コンテンツ配信事業者側の事情として、利用者が再配信を希望するコンテンツの公開を中止していたり、サーバがダウンしたり、配信サービス業務  
25 を停止していたりして、利用者の再配信の要求に応えられない場合がある。そのため、再配信を条件にコンテンツの販売契約を結ぶ場合には、結果として、事業者側の契約不履行が発生する虞れがある。

## 発明の開示

本発明の目的は、こうした従来の問題点を解決するものであり、ネットワークを通じて電子的に配信したコンテンツなどの再配信を円滑に実施する保険システムを提供し、そのシステムを構成する装置並びにそれを実現するための処理プログラムを提供することである。

この目的は、電子的に配信する許可データの再配信を保障する保険システムにおいて、保険への加入を条件に、再配信を受ける権利が発生するように構成することにより達成される。

10

## 図面の簡単な説明

- 図 1 は、従来のコンテンツ配信システムの構成図、
- 図 2 は、本発明の実施形態における保険システムの全体構成を示す図、
- 図 3 は、実施形態の保険システムのフロントエンド構成を示す図、
- 15 図 4 は、実施形態の保険システムにおける配信サービス提供者との保険契約時の処理フロー、
- 図 5 は、実施形態の保険システムにおける利用者との保険契約時の処理フロー、
- 図 6 A は、実施形態の保険システムにおける再配送履歴 D B のデータ構成を示す図、
- 20 図 6 B は、実施形態の保険システムにおける保険契約 D B のデータ構成を示す図、
- 図 7 は、実施形態の保険システムにおけるライセンスリストのデータ構成を示す図、
- 25 図 8 は、実施形態の保険システムにおけるライセンス配送時の処理フロー、
- 図 9 は、実施形態の保険システムにおける保険証書とライセンスとのパッケージ化を示す図、

- 図 1 0 は、実施形態の保険システムにおけるコンテンツ利用時の処理フロー、  
図 1 1 は、実施形態の保険システムのバックエンド構成を示す図、  
図 1 2 は、実施形態の保険システムにおける事故発生時の処理フロー、  
図 1 3 は、実施形態の保険システムにおける保険契約及びライセンス購入の  
5 処理フロー、  
図 1 4 は、実施形態の保険システムにおける再配信の処理フロー、  
図 1 5 は、実施形態の保険システムにおけるライセンス購入及び保険契約の  
処理フロー、  
図 1 6 は、実施形態の保険システムにおけるライセンスの内容例を示す図で  
10 ある。

発明を実施するための最良の形態

(実施の形態 1)

- 本実施形態における保険システムは、図 2 に示すように、コンテンツサーバ  
15 20、21 及びライセンスサーバ 10、11 を持つ複数の配信サービス 1、2 と、P  
C (Personal Computer) やモバイル端末、S T B (Set Top Box) 等から  
成る利用者端末 40 と、保険サービスを実行する保険サービスサーバ 50 と、こ  
れらを接続するインターネット、モバイルネットワーク、放送網などのネット  
ワーク 30 とで構成される。コンテンツサーバ 20、21 は、暗号化された電子コ  
20 ンテンツそのものを配信し、ライセンスサーバ 10、11 は、電子コンテンツを  
利用可能にするライセンスを発行する。このライセンスの情報の中には、暗号  
化された電子コンテンツを解く復号化鍵の情報が含まれる。

- このシステムでは、一旦購入したコンテンツやライセンスについては無料で  
再配信が受けられるサービスを導入している。ただ、無料の再配信サービスを  
25 導入した場合、配信サービス事業者側の負担が可成り大きくなる。そのため、  
再配信を受ける権利を「再配信ライセンス」として有料販売し、コンテンツや

そのライセンスを紛失した場合、再配信ライセンスを持つ利用者だけが、無料で再配信を受けることができるように構成している。

また、再配信のための処理を専門に実行する独立した保険サービスサーバ 50 を設け、複数の配信サービス 1、2 が、この保険サービスサーバ 50 を共用するようにシステム化している。

利用者端末 40 は、図 3 に示すように、蓄積メディア 45 に蓄積されたコンテンツの再生機能 44 と、利用者が有するライセンスの有効／無効を表す情報が記述されたライセンスリスト 43 と、ライセンスリスト 43 を参照してコンテンツの再生の可否を判定するライセンス利用判定機能 42 と、コンテンツやライセンスを紛失したときに保険サービスサーバ 50 にそれらの再配送を要求する再配送要求機能 41 とを備えている。

保険サービスサーバ 50 は、同図 3 に示すように、再配送の要求を受け付ける再配送受付機能 51 と、配信サービス事業者あるいは利用者との間で保険契約を交わす契約処理機能 52 と、保険契約情報を保管する保険契約データベース (DB) 54 と、利用者への再配送の履歴情報を保管する再配送履歴 DB 53 と、ライセンスを管理するライセンス管理機能 55 と、各ライセンスの有効／無効の情報が記述されたライセンスリスト 56 とを備えている。

なお、利用者端末 40 及び保険サービスサーバ 50 における各機能は、利用者端末 40 または保険サービスサーバ 50 に内蔵されたコンピュータをプログラムに従って動作させることにより実現する機能である。

図 4 は、このシステムにおいて、配信サービス事業者が保険サービスサーバ 50 と保険契約を交わす場合の処理フローを示している。この処理フロー（以後の処理フローも同じ）では、保険サービスサーバ 50 及び利用者端末 40 の各機能と、ライセンスサーバ 10 とを縦軸に配して、縦軸間の処理を矢印で表している。

(1) 配信サービス事業者は、ライセンスサーバ 10 から、保険加入のユーザーインターフェース (UI) を利用して、保険サービスサーバ 50 に保険加入

を申し込む。また、このとき、配信サービス事業者は、UIを利用して、希望する再配信条件を入力する。これを受けて、保険サービスサーバ50の契約処理機能52は、保険サービス提供者の公開鍵が付いた保険証書を発行する。この保険契約の内容を保険契約DB54に記録し、

- 5   (2) 発行した保険証書をライセンスサーバ10に送信する。なお、保険証書は紙に印刷したものを配信サービス事業者に送るようにしても良い。

保険に加入した配信サービス事業者は、例えば、自社が提供する配信コンテンツ申込用のポータルページに、コンテンツを紛失した場合に再配信を保障する保険が利用できる旨を表示する。

- 10   利用者が保険に加入するためのUIは、例えば、利用者端末40の画面にこのポータルページを表示し、「保険に加入する」をクリックすると、表示される。

図5は、利用者が保険に加入する場合の利用者端末40と保険サービスサーバ50との間の処理フローを示している。

- 15   (1) 利用者が利用者端末40に保険加入画面を表示して、保障内容を確認し、利用者名や購入するコンテンツのライセンスID等を入力して加入申込を実行すると、保険サービスサーバ50の契約処理機能52は、保険証書を発行し、この保険契約の内容を保険契約DB54に記録する（保険契約DB54には、利用者ごとに纏めて、保険契約を記録する）。このとき、契約処理機能52は、保  
20   険契約毎に公開鍵・秘密鍵のペアを生成し、保険契約DB54に記録するとともに、保険証書には秘密鍵を付与する。（また、契約処理機能52は、再配送履歴DB53の記録に、契約した利用者用の記入欄を設ける。）

(2) 保険サービスサーバ50の契約処理機能52は、ライセンスサーバ10に利用者の保険加入を通知する。但し、この処理は必須ではない。

- 25   (3) 保険サービスサーバ50の契約処理機能52は、発行した保険証書を利用者端末40のライセンス利用判定機能42に送信する。ライセンス利用判定機能42は、この保険証書を蓄積メディア45に蓄積する。



- 図 6 B には、保険証書の内容を例示している。保険証書には、次のような事項が含まれる。保険契約 I D（保険契約を一意に識別する I D）、被保険者（保険に加入した利用者名）、保障対象ライセンス I D（保障対象のライセンスを識別する I D。1 つのコンテンツに対して、見るだけのライセンス、コピーする
- 5 ためのライセンス等、複数のライセンスが設定されており、それらの複数を購入する場合には、複数のライセンス I D が記述される）、保険料（円／コンテンツ）（利用者が支払う保険料）、保障期間（再配信が保障される期間）、再ライセンス開始日（ライセンスの再配信を開始する日。度重なるコンテンツの紛失に対処するため、保障期間の初日からずらして開始日を設定）、再ライ
- 10 センス回数上限（ライセンスの再配信回数の上限。度重なるコンテンツの紛失に対処するため回数を規定）、代替コンテンツとの価格差の上限（コンテンツの公開中止などで同一コンテンツが再配信不能である場合に、この価格差の限度内で代替コンテンツのライセンスを発行する）、ライセンス復号鍵（保険証書に付与されている保険契約ごとに生成された秘密鍵）
- 15 また、図 6 A には、再配送履歴 D B 53 の記録を例示している。再配送履歴記録として、利用者名、初回契約年月日、ライセンスを再配信した再ライセンス回数、補償総額（実績）（無料で再配信したコンテンツの実際の販売価格の合計）などが記述される。契約した利用者の記入欄には、利用者名及び契約年月日と再ライセンス回数及び補償総額が記入される。
- 20 （４）利用者端末 40 のライセンス利用判定機能 42 は、保険契約を機に、保険サービスサーバ 50 のライセンス管理機能 55 に、利用者に関するライセンスリスト（の更新）を要求する。
- （５）保険サービスサーバ 50 のライセンス管理機能 55 は、保険契約 D B 54 から、その利用者が被保険者であるライセンスを検出し、そのライセンスの
- 25 リストをライセンスリスト 56 から抽出して利用者端末 40 のライセンス利用判定機能 42 に送信する。ライセンス利用判定機能 42 は、これをライセンスリスト 43 に蓄積する。

図7は、ライセンスリストの一例を示している。このリストには、ライセンスID、ライセンスが失効した年月日、及び失効事由が記述されている。失効年月日及び失効事由が空欄のライセンスは有効である。

図8は、利用者が、利用者端末40から保険契約したコンテンツの購入申込みと、そのライセンスとを要求した場合に、ライセンスが利用者端末40に送られてくるまでのフローを示している。なお、購入したコンテンツは、コンテンツサーバ20から暗号化された状態で利用者端末40のもとに送られ、蓄積メディア45に蓄積される。この伝送ルートは、ライセンスと一緒に良いし、あるいは、別でも良い。ここでは、暗号化されたコンテンツの配送ルートについては特に触れない。いずれにしろ、コンテンツが蓄積メディア45に蓄積され、且つ、ライセンスの取得が実現して、始めてコンテンツの再生が可能になる。

(1) 利用者は、利用者端末40にコンテンツ購入申込み画面を表示して、利用者名や購入するコンテンツ、ライセンスID等を入力してライセンス要求を実行する。

(2) 保険サービスサーバ50の契約処理機能52は、ライセンスサーバ10に、利用者端末40から受けたライセンス要求を伝える。

(3) ライセンスサーバ10は、購入したコンテンツの復号鍵を含むライセンスを発行し、保険サービスサーバ50の契約処理機能52に送信する。

契約処理機能52は、ライセンスサーバ10が発行したライセンスを、保険証書に付与した秘密鍵に対応する公開鍵で暗号化する。また、暗号化したライセンスに、保険証書で規定する保障条件の情報を加えてパッケージ化する。

(4) 保険サービスサーバ50の契約処理機能52は、パッケージ化したライセンスを利用者端末40に送信する。利用者端末40のライセンス利用判定機能42は、暗号化されたライセンスと保障条件情報とを蓄積する。

図9は、この処理過程を模式的に表している。保険サービスサーバ50は、ライセンスサーバが発行したライセンスを、保険契約ごとの公開鍵を用いて暗

号化し、この暗号化したライセンスと保障条件情報とをパッケージ化して利用者端末 40 に送信する。利用者端末 40 では、ライセンス利用判定機能 42 が、暗号化されたライセンスと保障条件情報とを蓄積する。

ライセンス利用判定機能 42 は、コンテンツを再生する時、ライセンス利用  
5 の可否を判定するために、蓄積した保障条件情報を、ライセンスリスト 43 の  
情報とともに使用する。また、ライセンス利用判定機能 42 は、ライセンスの  
利用を可と判定したとき、暗号化されているライセンスを保険証書に付与され  
た秘密鍵で復号化して、再生機能 44 に出力する。再生機能 44 は、ライセンス  
10 に含まれた復号鍵を用いて、暗号化されているコンテンツを復号化し、再生す  
る。

なお、ここでは、保険契約時に生成する公開鍵及び秘密鍵の鍵ペアを保険サ  
ービスサーバ 50 の契約処理機能 52 で生成する場合について説明したが、この  
鍵ペアを利用者端末 40 内で生成して、公開鍵を保険サービスサーバ 50 に送る  
ようにしても良い。

15 図 10 は、利用者端末 40 においてコンテンツが再生される場合の処理フロ  
ーを示している。

(1) 利用者からコンテンツの再生指示が出されると、

(2) 利用者端末 40 の再生機能 44 は、そのコンテンツに関するライセンスの  
ライセンス ID を指定して、ライセンスの利用可否の判定をライセンス利用判  
20 定機能 42 に要求する。ライセンス利用判定機能 42 は、ライセンスリスト 43  
の情報及び保障条件情報に基づいて、該当するライセンスの有効性を判定する。

(3) ライセンス利用判定機能 42 は、該当するライセンスが有効であるか否  
かを示す情報が利用者端末 40 内に無いため、ライセンスの有効性が判断でき  
ない場合には、保険サービスサーバ 50 のライセンス管理機能 55 に、ライセン  
25 ス ID を指定して、当該ライセンスの有効性を問い合わせる。

(4) 保険サービスサーバ 50 のライセンス管理機能 55 は、ライセンスリスト 56 を検索し、指定されたライセンス ID が失効しているか否かを識別し、識別結果を利用者端末 40 のライセンス利用判定機能 42 に伝える。

(5) ライセンス利用判定機能 42 は、ライセンスが有効であるとき、暗号化  
5 されているライセンスを保険証書に付与された秘密鍵で復号化して、再生機能 44 に出力する。また、ライセンスが失効しているときは、その旨を再生機能 44 に出力する。

(6) 再生機能 44 は、ライセンスが与えられた場合には、ライセンスに含まれた復号鍵を用いて、暗号化されているコンテンツを復号化し、再生する。ま  
10 た、ライセンスの失効が伝えられたときは、再生の不許可を表示する。

次に、利用者端末 40 でコンテンツやライセンスの紛失事故が発生した場合の処理について、図 12 を用いて説明する。こうした事故が発生した場合、保険サービスサーバ 50 は、以前のライセンスを無効化し、新しいライセンスを再配送する。また、コンテンツの公開中止などで同一のコンテンツの再配信が  
15 不可能な場合には、それに代わるコンテンツのライセンスを利用者に再配信する。なお、再配信するコンテンツの伝送ルートは、再配信するライセンスと一緒にしても良いし、別でも良い。ここでは、コンテンツの配送ルートについては特に触れない。いずれにしろ、再配信されたコンテンツが蓄積メディア 45 に蓄積され、且つ、ライセンスの再配信が完了して、始めて再配信されたコンテンツの再生が可能になる。  
20

(1) 利用者のライセンス再配信の要求に基づいて、

(2) 利用者端末 40 の再配送要求機能 41 は、保険サービスサーバ 50 の再配送受付機能 51 に利用者名を告げて事故を報告する。

(3) 再配送受付機能 51 は、再配送履歴 DB 53 を参照し、再ライセンス回数が保障条件の再ライセンス回数上限を超えない場合に、再配送履歴記録の再ライセンス回数を 1 つインクリメントした後、利用者端末 40 の再配送要求機能  
25 41 に対して、要求するライセンスを問い合わせる。このとき、同一コンテンツ

を対象とするライセンスの再配信が不可能な場合に備えて、代替コンテンツに対する希望条件（同一アーティストの曲を希望するか、異なるアーティストの曲でも良いかなど）を合わせて尋ねる。

（４）利用者端末 40 の再配送要求機能 41 から回答があると、

- 5   （５）再配送受付機能 51 は、ライセンス発行元のライセンスサーバ 10 に、同一コンテンツを対象とするライセンスの再発行の可否を問い合わせる。発行元が不可である場合は、他のサービス提供者にも問い合わせる。前記ライセンスの再発行が不可能な場合は、保険契約の保障条件で規定された「代替コンテンツとの価格差の上限」を超えず、且つ、利用者の希望条件を満たす代替コンテンツを絞り込み検索し、

（６）検索結果が得られると、

（７）利用者端末 40 の再配送要求機能 41 に、代替ライセンス一覧情報として送信する。

- 15   （８）この代替ライセンス一覧情報を基に、利用者端末 40 の画面に代替ライセンス選択画面が表示される。

（９）利用者が代替ライセンス選択画面で代替ライセンスを選択すると、

（１０）選択した代替ライセンスの情報が、再配送要求機能 41 を通じて保険サービスサーバ 50 の再配送受付機能 51 に送られ、

- 20   （１１）再配送受付機能 51 は、契約処理機能 52 に、その代替ライセンスを要求する。

（１２）契約処理機能 52 は、その代替ライセンスを対象とするライセンス要求に、保険サービス提供者の秘密鍵を用いて署名を付し、ライセンスサーバ 10 に送信する。

- 25   （１３）ライセンスサーバ 10 は、ライセンス要求の署名を保険サービス提供者の公開鍵を用いて検証した後、ライセンスを発行し、保険サービスサーバ 50 の契約処理機能 52 に送信する。

契約処理機能 52 は、ライセンスサーバ 10 が発行したライセンスを、保険証書に付与した秘密鍵に対応する公開鍵で暗号化する。また、保険契約の保障条件（図 6 B）に含まれる保障対象ライセンス ID や再ライセンス開始日、再ライセンス回数上限などを更新し、暗号化したライセンスに、この保障条件の情報を加えてパッケージ化する。

（14）契約処理機能 52 は、パッケージ化した代替ライセンスを再配送受付機能 51 に渡す。再配送受付機能 51 は、再配送履歴 DB 53 の再配送履歴記録（図 6 A）に含まれる補償総額を更新した後、

（15）ライセンス管理機能 55 にパッケージ化した代替ライセンスを渡す。

10 ライセンス管理機能 55 は、ライセンスリスト（図 7）を更新する。

（16）ライセンス管理機能 55 は、利用者端末 40 のライセンスリスト 43 の更新を指示する。

（17）このライセンスリストの更新指示と、パッケージ化した代替ライセンスとは、再配送受付機能 51 を通じて利用者端末 40 の再配送要求機能 41 に送られ、

（18）再配送要求機能 41 は、これらをライセンス利用判定機能 42 に渡し、

（19）ライセンス利用判定機能 42 は、ライセンスリスト 43 を更新し、代替ライセンスを蓄積する。

なお、（6）において、ライセンスサーバ 10 から同一のコンテンツに対するライセンスの再発行が可能である旨の回答が得られた場合は、（11）に移行して、そのライセンスの要求が契約処理機能 52 に渡され、契約処理機能 52 からライセンスサーバ 10 にライセンス要求が出される（12）。この場合でも、契約処理機能 52 は、以前のライセンスは無効化し、それに代替するライセンスとしてライセンス要求を行い、ライセンスサーバ 10 は、以前と異なる

20 ライセンス ID を付したライセンスを発行する。

このように、このシステムでは、利用可能なライセンスのリスト、あるいは失効したライセンスのリストを保険サービスサーバで管理し、ライセンスを再

配信する場合、以前のライセンスを無効化して、紛失した（筈の）コンテンツの利用を不可能にしている。そのため、虚偽の事故報告で再配信を受ける意味が無くなり、結果として、保険の不正利用を防止できる。

- また、保険サービスサーバは、紛失したコンテンツと同じ物が再配信できない場合に、代替コンテンツを再配信し、また、配信元のサービス提供者が事業停止などによりコンテンツの再配信に対応できない場合には、別のサービス提供者の代替品を利用者に再配信する。従って、利用者は、保険への加入により、コンテンツやライセンスの再配信が保障される。サービス提供者に障害が発生していたり、運用が停止されている時でも、利用者の権利は保障される。
- 10    また、配信サービス提供者は、自身が保険に加入することにより、利用者がサービスに対して抱く、コンテンツ消失時の救済に対する不安を取り除くことができる。また、配信サービス提供者が事業の停止などでコンテンツの再配信に応じられない場合でも、別のサービス提供者から調達した代替品が利用者に再配信されるため、配信サービス提供者は、保険の加入により契約不履行の責
- 15    任を免れることができる。

また、このシステムでは、保険契約情報及びライセンスの有効性の情報を保険サービスサーバでも管理しているため、利用者端末にマシクラッシュが発生してコンテンツとともに保険証書が失われた場合でも、コンテンツやライセンスの再配信が可能である。

- 20    なお、ここでは、図3に示すように、利用者が、初回のライセンス要求を保険サービスサーバ50に対して行い、保険サービスサーバ50からライセンスサーバ10にライセンス要求が伝えられるフロントエンド構成について説明したが、図11に示すように、利用者が、初回のライセンス要求をライセンスサーバ10に対して行い、ライセンスサーバ10が保険サービスサーバ50の契約処
- 25    理機能52に、そのライセンスへの保険の付加を依頼するバックエンド構成を採用することもできる。このバックエンド構成の場合も、再配信の処理は、フロントエンド構成と同じように行われる。

また、保険契約の保障条件（図6B）は、それを含む保険証書を利用者端末に発行し、また、ライセンスに付与して利用者端末に送付する場合について説明したが、電子領収書を発行する場合には、電子領収書に明記して利用者に伝えるようにしても良い。この場合、保障条件情報を電子領収書と分離して保存

5 可能な形式とすることにより、利用者端末のライセンス利用判定機能は、電子領収書から保障条件情報を取り出して蓄積することができる。

また、保険証書を予め利用者端末に組み込み、保険をセットにした利用者端末を販売することも可能である。

また、保険契約DBでは、利用者ごとの保障条件を管理し、保障条件に規定

10 する再ライセンス回数上限として、同一コンテンツに対する再ライセンス回数上限だけでなく、利用者が購入した全てのコンテンツに対する再ライセンス回数上限を決めても良い。例えば、利用者が購入した全てのコンテンツを対象に10回を限度に再配信を許容し、但し、同一コンテンツの再配信は3回を限度とする、と云う具合である。

15 また、複数の保険サービス間で、再配信履歴情報をモジュール化して交換し、不正利用者をチェックするようにしても良い。

また、保険サービスサーバ50に、各配信サービス1、2の障害を検出する機能を設け、各配信サービスでのサービスの障害の回数や、復旧までの時間などを検出し、その結果に基づいて、サービス提供者ごとの保障条件（保険料）

20 を変化させるようにしても良い。

また、ここでは、保険サービスサーバで管理するライセンスリストの一部を利用者端末にコピーし、利用者端末は、このコピーに含まれないライセンスの有効性を保険サービスサーバに問い合わせる構成について説明したが、利用者端末へのライセンスリストのコピーは行わずに、利用者端末が、常に、保険サービスサーバに問い合わせるように構成することもできる。

25

また、保険サービスから利用者への再配信ライセンス等の配送には、電子メディアによる送付だけでなく、郵送など、物理メディアの利用も可能である。



物理メディアによる配送は、コンテンツ、ライセンス、保険証書の1または複数の送付に利用することができ、利用者がライセンス購入後に、利用者宛にコンテンツを郵送したり、利用者がコンテンツダウンロード後に、利用者宛にライセンスを郵送したり、利用者が保険加入後に、利用者宛に保険証書を郵送したりすることができる。

また、保険サービスサーバをフロントエンドとする場合(図3)、ここでは、保険サービスサーバを介して、ライセンスだけを利用者端末に送付する場合について説明したが、コンテンツを、保険サービスサーバを介して利用者端末に送付することも可能である。また、保険サービスサーバは、ライセンスに対して保障条件情報を付加する変換(パッケージ化)を行っているが、同様の変換をコンテンツに対して実施しても良い。この場合、利用者端末でコンテンツを再生したときに、保障条件情報が表示される。また、ライセンスやコンテンツに対するこの変換は行わなくても良い。

また、ここでは保険サービスサーバを独立した機構として説明したが、この保険サービスサーバの機能をモジュール化して配信サーバに組み込むようにしても良い。

また、保険サービスサーバを配信サーバから独立して運用する場合について説明したが、保険サービスサーバと配信サーバとを同一の事業者が運用しても構わない。

また、ライセンスを保障する保険サービスサーバとコンテンツを保障する保険サービスサーバとを組み合わせる構成であっても良い。

また、このシステムの保険サービスサーバを利用して、バージョンアップしたコンテンツのライセンスを利用者端末に配布することができる。コンテンツのバージョンアップが行われた場合、配信サービス事業者(または配信サービス事業者から通知を受けた保険サービスサーバ)は、その旨を利用者へ通知し、利用者の要求に基づいて、保険サービスサーバが、バージョンアップしたコンテンツのライセンスを再配布する。

このとき、保険サービスサーバ 50 は、図 12 のライセンス再配信と同じ手順で、バージョンアップしたコンテンツのライセンスを再配信し、利用者の要求に応える。保険サービスサーバ 50 は、コンテンツの各バージョンに対応するライセンスを再配送履歴 DB 53 やライセンスリスト 56 で管理し、バージョンアップしたライセンスの重複配布や、バージョンアップ後の旧バージョンによるコンテンツ再生等を防止する。そのため、配信サービス事業者は、バージョンアップに対する利用者対応を保険サービスサーバに任せることができる。また、利用者は、保険サービスサーバ 50 を通じて、バージョンアップしたコンテンツのライセンスを確実に取得することができる。

10    また、保険サービスサーバを持つシステムでは、利用者端末の仕様が配信サービスにおけるコンテンツの配信フォーマットや蓄積フォーマットの規格に対応していない場合（例えば、一方が CD（Compact Disc）オーディオで他方が DVD（Digital Video Disc）オーディオ、一方が MP 3 で他方が AAC など）、保険サービスが仲介して、利用者端末でのコンテンツの蓄積を保障するような  
15    ことも可能になる。

また、このシステムを、異種メディアコンテンツの相互交換（例えば、モバイルでダウンロードしたコンテンツと放送コンテンツとの相互交換）のために使用することも可能である。その場合、メディアごとの複数の保険サービスサーバを統括する保険サーバを用意し、サーバ同士を階層的に接続する。

20    また、ここでは、コンテンツやライセンスの再配信について説明したが、電子マネーや電子チケット等の電子バリューを保険の対象に加え、電子バリューの紛失リスクを保険で軽減することも可能である。

このように、この実施形態によれば、電子的に配信する許可データの再配信を保障する保険サーバに、許可データとして、コンテンツの再生を許可する  
25    ライセンスの再配信を保障し、保険に加入した利用者の要求に応じて、配信サービス提供者が発行するライセンスを利用者の利用者端末に再配信するように構成し、また、電子的に配信する許可データの再配信を保障する保険システムに

- 用いる利用者端末に、保険サーバが発行した保険証書と暗号化されたコンテンツとを蓄積する蓄積手段と、保険サーバを通じて取得したライセンスを保管し、コンテンツの再生時に前記コンテンツに対するライセンスの有効性を判定するライセンス利用判定手段と、前記ライセンスが有効であるとき、前記ライセンスに含まれる復号鍵を用いて前記コンテンツを復号化する再生手段と、前記ライセンスまたは前記コンテンツを消失したとき、前記ライセンスまたは前記コンテンツの再配送を前記保険サーバに要求する再配送要求手段とを設けていることにより、電子的に配信するコンテンツや電子チケット、電子マネーなどが事故や過失で消失した場合に、その再配信を保障することができる。利用者は、
- 10 この消失に対する不安から、電子的な配信サービスの利用に躊躇する傾向があるが、本発明のシステムは、こうした不安を解消して、電子的な配信サービスの利用の促進を図ることができる。

(実施の形態2)

- 本実施形態による保険システムの構成は、図2に示した場合と同様にして、
- 15 コンテンツサーバ20、21及びライセンスサーバ10、11を持つ複数の配信サービス1、2と、PCやモバイル端末、STB等から成る利用者端末40と、保険サービスを実行する保険サービスサーバ50と、これらを接続するインターネット、モバイルネットワーク、放送網などのネットワーク30とで構成される。この保険システムは、保険主体である保険サービスサーバ50と、ライ
- 20 センスの配信主体であるライセンスサーバ10(11)と、ユーザである利用端末40とからなるシステムである。コンテンツサーバ20、21は、暗号化された電子コンテンツそのものを配信し、ライセンスサーバ10、11は、電子コンテンツを利用可能にするライセンスを発行する。このライセンスの情報の中には、暗号化された電子コンテンツを解く復号化鍵の情報が含まれる。
- 25 このシステムでは、一旦購入したコンテンツやライセンスについては無料で再配信が受けられるサービスを導入している。ただ、無料の再配信サービスを導入した場合、配信サービス事業者側の負担が可成り大きくなる。そのため、

再配信を受ける権利を「再配信ライセンス」として有料販売し、コンテンツやそのライセンスを紛失した場合、再配信ライセンスを持つ利用者だけが、無料で再配信を受けることができるように構成している。

また、再配信のための処理を専門に実行する独立した保険サービスサーバ 50  
5 を設け、複数の配信サービス 1、2 が、この保険サービスサーバ 50 を共用するようにシステム化している。

利用者端末 40 は、図 3 に示すように、蓄積メディア 45 に蓄積されたコンテンツの再生機能 44 と、利用者が有するライセンスの有効／無効を表す情報が記述されたライセンスリスト 43 と、ライセンスリスト 43 を参照してコンテンツ  
10 ツの再生の可否を判定するライセンス利用判定機能 42 と、コンテンツやライセンスを紛失したときに保険サービスサーバ 50 にそれらの再配送を要求する再配送要求機能 41 とを備えている。再配送要求機能 41、ライセンス利用判定機能 42 及び再生機能 44 は、それぞれ所定のプロセッサによって実現されるものである。また、ライセンスリスト 43 は、メモリ等の記憶部に記憶されたデータである。  
15

保険サービスサーバ 50 は、同図 3 に示すように、再配送の要求を受け付ける再配送受付機能 51 と、配信サービス事業者あるいは利用者との間で保険契約を交わす契約処理機能 52 と、保険契約情報を保管する保険契約データベース (DB) 54 と、利用者への再配送の履歴情報を保管する再配送履歴データベース (DB) 53 と、ライセンスを管理するライセンス管理機能 55 と、各ライ  
20 センスの有効／無効の情報が記述されたライセンスリスト 56 とを備えている。再配送受付機能 51、契約処理機能 52 及びライセンス管理機能 55 は、それぞれ所定のプロセッサによって実現されるものである。また、再配送履歴データベース (DB) 53 及び保険契約データベース (DB) 54 は、メモリ等の記憶  
25 部によって構成され、ライセンスリスト 56 は、メモリ等の記憶部に記憶されたデータである。

なお、利用者端末 40 及び保険サービスサーバ 50 における各機能は、利用者端末 40 または保険サービスサーバ 50 に内蔵されたコンピュータをプログラムに従って動作させることにより実現する機能である。

図 1 3 は、この保険システムにおいて、配信サービス事業者が保険サービスサーバ 50 と保険契約を交わす場合の処理フローを示している。この処理フロー（以後の処理フローも同じ）では、保険サービスサーバ 50 及び利用者端末 40 の各機能と、ライセンスサーバ 10 とを縦軸に配して、縦軸間の処理を矢印で表している。

図 1 3 は、この保険システムにおいて保険契約が交わされる処理フローとして、利用者端末 40 と保険サービスサーバ 50 との間で保険契約が交わされた後に、利用者端末 40 がライセンスを購入する場合（「保険加入」→「ライセンス購入」）の処理フローを示している。

この処理フローにおいて、

（１）利用者端末 40 から保険サービスサーバ 50 の契約処理機能 52 に対して保険の加入申し込みが要求されると、加入申し込みの要求を受け取った保険サービスサーバ 50 の契約処理機能 52 は、保険契約データベース（DB）54 をその加入申し込みに応じて更新するとともに、仮保険証書を発行する。

（２）保険サービスサーバ 50 において、保険契約データベース（DB）54 の更新結果及び仮保険証書の発行結果は、ライセンスサーバ 10 に報告される。

（３）仮保険証書を発行した保険サービスサーバ 50 の契約処理機能 52 は、発行された仮保険証書を利用者端末 40 のライセンス利用判定機能 42 に送信する。仮保険証書を受け取ったライセンス利用判定機能 42 は、その仮保険証書を例えば蓄積メディア 45 等の蓄積手段に蓄積する。この仮保険証書の内容は、図 6 について上述した保険証書と同様であるが、この処理フローにおいては、ライセンスの購入前の段階において保険契約を行っていることにより、このライセンス購入前において発行された仮保険証書には、図 6 に示した「保障対象ライセンス ID」の情報及び「ライセンス復号鍵」の情報が記述されていない状

態となっている。このような仮保険証書の発行がなされることによって、その後、保障期間においては、一旦購入したコンテンツやライセンスについて保障条件内での再配信が受けられるという保険の契約が成立したことになる。

(4) このように、保険加入契約の結果として利用者端末 40 において仮保険証書が蓄積された状態において、利用者端末 40 からライセンス購入を行う場合、利用者端末 40 から保険サービスサーバ 50 の契約処理機能 52 に対して、ライセンス要求及び仮保険証書が送信される。保険サービスサーバ 50 の契約処理機能 52 は、利用者端末 40 から受け取った仮保険証書に基づいて、このときのライセンス要求が保険契約付きであると判断することができる。

(5) ライセンス要求を受け取った保険サービスサーバ 50 の契約処理機能 52 は、ライセンスサーバ 10 に対してライセンス要求を送信する。

(6) 保険サービスサーバ 50 からライセンス要求を受け取ったライセンスサーバ 10 は、ライセンスを発行し、これを保険サービスサーバ 50 の契約処理機能 52 に送信する。このようにライセンスサーバ 10 におけるライセンスの発行は、保険サービスサーバ 50 からの要求に基づいて行われ、発行されたライセンスも保険サービスサーバ 50 に送信されることにより、ライセンスの発行については必ず保険サービスサーバ 50 を介在させることとなっている。これにより、保険サービスサーバ 50 では、購入されたライセンスと仮保険証書によって特定される保険契約とをリンクさせることができる。

因みに、ライセンスの購入にあたって保険サービスサーバ 50 を介在させる方法としては、利用者端末 40 からライセンスサーバ 10 に対して、ライセンス要求及び仮保険証書を送信し、ライセンスサーバ 10 から保険サービスサーバ 50 に対して、その仮保険証書が保険契約データベース (DB) 54 に登録済みであるか否かを問い合わせるようにしてもよい。

(7) 図 13 において、ライセンスサーバ 10 において発行されたライセンスを受け取った保険サービスサーバ 50 の契約処理機能 52 は、仮保険証書の「保障対象ライセンス ID」及び「ライセンス復号鍵」の情報を加えたものを本保

険証書として再発行（又は更新）し、この本保険証書及びライセンス（ライセンス復号鍵によって暗号化されている）を利用者端末 40 に送信する。因みに、ライセンス復号鍵は、公開鍵方式又は共通鍵方式等の種々の方式を採用することができる。このように、本保険証書は、保険対象ライセンスを特定するための情報（ライセンス ID 等）及び保険適用条件を記述したデータである。

ライセンス及び本保険証書を受け取った利用者端末 40 は、これらを蓄積メディア 45 等の蓄積手段に格納する。因みに、蓄積メディア 45 には、ライセンス及び本保険証書に加えて、コンテンツそのものも蓄積されるようになされている。これにより、この蓄積メディア 45 を他の利用者端末において使用する場合であっても、ライセンスの再配信サービスを利用することができる。

（８）ライセンス及び本保険証書を受け取った利用者端末 40 は、ライセンスリスト要求を保険サービスサーバ 50 のライセンス管理機能 55 に送信する。

（９）ライセンスリスト要求を受け取った保険サービスサーバ 50 のライセンス管理機能 55 は、本保険証書によって保険契約がなされているライセンスのライセンス ID が記述されたライセンスリストを利用者端末 40 のライセンス利用判定機能 42 に送信する。

ライセンスリストを受け取ったライセンス利用判定機能 42 は、そのライセンスリストを蓄積し、この蓄積されたライセンスリストに記述された有効な（失効していない）ライセンス ID によって特定されるライセンスのみを利用可能とする。因みに、ライセンスリストとは、ライセンス識別情報としてのライセンス ID、当該ライセンスの有効の有無（失効情報等）を記述したデータである。

このように、保険サービスサーバ 50 において正規手続きを経て保険契約がなされたライセンスを記述したライセンスリストを、保険サービスサーバ 50 から利用者端末 40 に送信し、このライセンスリストに記述されているライセンス ID によって特定されるライセンスのみを、利用者端末 40 において利用可能とすることにより、保険サービスサーバ 50 において、ライセンスの不正

な再配信要求に対して、ライセンスの再配信を行った場合には、このライセンスを受け取った利用者端末 40 において蓄積されているライセンスリストには、そのライセンス ID が有効なものとして記述されていないこととなる。これにより、利用者端末 40 において、不正に再配信されたライセンスの利用を防止  
5    することができる。

このように、図 13 に示す処理フローにおいては、「保険加入（保険証書発行）要求」→「ダミー（仮）保険証書発行」→「ライセンス購入要求及びダミー保険証書提示」→「ライセンス発行及び保険証書更新／再発行（本保険証書発行）」の処理手順に従って、ライセンスの購入の前に保険加入処理を行うこと  
10    ができる。そして、保険加入契約については、ライセンスサーバ 10 から独立した保険サービスサーバ 50 が主体となってその契約及び管理を行うことにより、ライセンスサーバ 10 において再配信のための複雑な処理を追加することなく、ライセンスの再配信サービスを容易に導入することができる。また、不正な再配信を防止した、円滑な再配信サービスを提供することができる。ま  
15    た、「ライセンス発行及び保険証書更新／再発行（本保険証書発行）」の際には、ライセンスリストが発行されることにより、利用者端末 40 において、不正に再配信されたライセンスの利用を防止することができる。図 14 は、保険契約によって、本保険証書、ライセンス及びライセンスリストを持っている利用者端末 40 において、当該保険契約に基づくライセンスの再配信を受ける  
20    際の処理フローを示している。

この処理フローにおいて、

（１）利用者端末 40 の入力装置（図示せず）において利用者が再配信の要求を入力すると、この要求は利用者端末 40 の再配送要求機能 41 に供給される。

（２）再配送要求を受け取った利用者端末 40 の再配送要求機能 41 は、保険サービスサーバ 50 の再配送受付機能 51 に対して、再配信要求を送信する。  
25



(3) 利用者端末 40 から再配信要求を受け取った保険サービスサーバ 50 の再配信受付機能 51 は、再配送履歴を記録した後、その旨を利用者端末 40 の再配送要求機能 41 に送信する。

(4) 再配送履歴の記録結果を受け取った利用者端末 40 の再配送要求機能 41 は、本来再配信を受けるべきライセンスと代替ライセンスとを含む一覧要求を保険サービスサーバ 50 の再配送受付機能 51 に送信する。

(5) この一覧要求を受け取った保険サービスサーバ 50 の再配送受付機能 51 は、再配信を受けるべきライセンスの提供をライセンスサーバ 10 がそのときに行っているか否かをライセンスサーバ 10 に対して問い合わせる。

(6) ライセンスの問い合わせを受けたライセンスサーバ 10 は、問い合わせのあったライセンスの提供を行っている場合には、その旨を保険サービスサーバ 50 の再配送受付機能 51 に送信する。これに対して、問い合わせのあったライセンスの提供をライセンスサーバにおいて行っていない場合、すなわち、コンテンツ配信事業者側の事情として、利用者が再配信を希望するコンテンツの公開を中止していたり、サーバがダウンしたり、配信サービス業務を停止していたりして、利用者の再配送の要求に応えられない場合、ライセンスサーバ 10 はこれに代わる代替コンテンツを利用するための代替ライセンスの一覧を保険サービスサーバ 50 の再配送受付機能 51 に送信する。

(7) 代替ライセンスの一覧を受け取った保険サービスサーバ 50 の再配送受付機能 51 は、その代替ライセンス一覧を利用者端末 40 の再配送要求機能 41 に送信する。因みに、再配信対象となるライセンスの提供をライセンスサーバ 10 において行っていない場合には、保険サービスサーバ 50 においてその他のライセンスサーバ（図示せず）に対して代替ライセンスの問い合わせを行うことにより、さらに多くの代替ライセンスの一覧を利用者端末 40 に対して提示することが可能となる。そして、この場合、利用者端末 40 から送信される再配信要求に、コンテンツの、ある特定のジャンルを指定することにより、保険サービスサーバ 50 は、この指定に基づいて、代替ライセンスの検索範囲を

絞り込むことができ、利用者の好みに応じたジャンルのコンテンツを利用するための代替ライセンスを提示することができる。このように、利用者端末 40 において、ライセンスの再配信を利用する際に、保険サービスサーバ 50 を必ず介し、この保険サービスサーバ 50 が主体となって再配信の要求に応じた再  
5 配信処理を行うことにより、そのライセンスを発行したライセンスサーバ 10 に限らず、その他のライセンスサーバからも広く代替ライセンスを検索することができることにより、再配信を一段と円滑に行うことが可能となる。

(8) 代替ライセンス一覧を受け取った利用者端末 40 の再配送要求機能 41 は、その一覧に記述されている代替ライセンスを表示装置に表示させる。

10 (9) 利用者が入力装置（図示せず）を操作して、表示装置に表示された代替ライセンスのなかから、利用者が希望する代替ライセンスを選択すると、当該選択結果は利用者端末 40 の再配送要求機能 41 に供給される。

(10) 選択結果を受け取った利用者端末 40 の再配送要求機能 41 は、その選択結果を保険サービスサーバ 50 の再配送受付機能 51 に送信する。

15 (11) 選択結果を受け取った保険サービスサーバ 50 の再配送受付機能 51 は、当該選択結果によって特定される代替ライセンスの要求を契約機能 52 に対して供給する。

(12) 代替ライセンスの要求を受け取った契約処理機能 52 は、その代替ライセンスの要求を、そのライセンスを提供しているライセンスサーバ 10 に対して送信する。  
20

(13) ライセンスの要求を受け取ったライセンスサーバ 10 は、そのライセンスを発行し、保険サービスサーバ 50 の契約機能 52 に対して送信する。

(14) ライセンスを受け取った保険サービスサーバ 50 の契約機能 52 は、そのライセンスを代替ライセンスとして再配送受付機能 51 に供給する。

25 (15) 代替ライセンスを受け取った再配送受付機能 51 は、その旨をライセンス管理機能 55 に供給する。

(16) ライセンス管理機能 55 は、ライセンスリスト更新指示を再配送受付機能 51 に供給する。

(17) ライセンスリスト更新指示を受け取った再配送受付機能 51 は、代替ライセンスとライセンスリスト更新指示を利用者端末 40 の再配送要求機能 41 に送信する。これにより、ライセンスの再発行が行われたこととなる。このように、図 14 に示す処理フローによれば、「再配信要求」→「代替条件確認」→「要求ライセンスの有無確認」→「要求ライセンスが無い場合の代替配信」の手順に従った処理が行われることにより、保険サービス 50 を主体とした円滑なライセンス（代替ライセンス）の再配信が行われる。因みに、「ライセンスの再発行」とは、この実施形態においては、再配送要求に応じて保険サービスサーバ 50 によって検索されたライセンス又は代替ライセンスが利用者端末 40 に送信された状態を意味するが、本発明はこれに限らず、このライセンス又は代替ライセンスが保険サービスサーバ 50 の要求によってライセンスサーバ 10 において発行された状態までを意味するもの、又は、このライセンス又は代替ライセンスに基づいてライセンスリストが更新された状態までを含むものとしてもよい。

(18) 利用者端末 40 の再配送受付機能 51 は、受け取った代替ライセンス及びライセンスリスト更新指示をライセンス利用判定機能 42 に供給する。

(19) ライセンス利用判定機能 42 は、受け取った代替ライセンスを蓄積するとともに、ライセンスリストを更新する。このライセンスリストの更新では、図 7 について上述したライセンスリストのうち、ライセンスの再配信の要求の根拠となった元ライセンス（すなわち事故等によりデータが失われたとされるライセンス）を失効させるとともに、代替ライセンスのライセンス ID を新たにリストに加える。このように、再配信の根拠となるライセンスの利用が禁止状態となることにより、ライセンスの数（種類）を不正に増やす目的でその再配信が行われることを防止することができる。そして、このようなライセンスリストの更新管理（「元ライセンスの有効の有無を無効状態とし、新規のライ

センスIDが生成され（当該新規ライセンスIDの有効の有無を表す情報は有効を表す）るよう、保険主体が更新」→「ユーザ側（利用者端末40側）リスト更新」）を、配信サービス提供者サーバであるライセンスサーバ10とは独立した形態で設けられている保険サービスサーバ50において行うことにより、

5    ライセンスの再配信サービスを行うにあたって、ライセンスサーバ10における処理に、再配信を行うための複雑な処理を追加することなく、容易に再配信サービスを導入することが可能となる。

かくして、図14に示す処理フローにおいては、ライセンスの再配信を行う際に、必ず保険サービスサーバ50を介して再配信が行われることにより、保険サービスサーバ50が主体となってライセンスリストの更新、代替ライセンスの提供を行うことができ、ライセンスの再配信を円滑に行うことが可能となる。そして、ライセンスリストを用いることによる効果としては、保険主体（保険サービス50）では、再配信要求そのものの正当性はチェックすることが困難であるので、不正にライセンスを入手（不正再配信）を防止することはできないが、利用者端末40側でのライセンスの利用実行時にこのライセンスリスト

10    を参照することにより、不正実行を防止することができる。特に、代替ライセンス（実体異なる）の不正実行効果は大きいものとなる。

なお、上述の実施形態においては、保険加入契約後にライセンスの購入を行う場合（図13）について述べたが、本発明はこれに限らず、ライセンスの購入後に保険加入契約を行う（「ライセンス購入後」→「保険加入」）ようにしてもよい。

20   

すなわち、図15はライセンスの購入後に保険加入契約を行う場合の処理フローを示し、

（1）利用者端末40からライセンスサーバ10に対してライセンス要求が送信されると、

25

(2) ライセンスサーバ 10 は、そのライセンス要求に対してライセンス (a) を利用者端末 40 に送信する。このライセンスリスト (a) は蓄積メディア 45 等の蓄積手段に蓄積される。

(3) また、新たに、利用者端末 40 からライセンスサーバ 10 に対してライ  
5      5      ンス要求が送信されると、

(4) ライセンスサーバ 10 は、そのライセンス要求に対してライセンス (b) を利用者端末 40 に送信する。このライセンスリスト (b) は蓄積メディア 45 等の蓄積手段に蓄積される。このように、ライセンスサーバ 10 においてライ  
10      10      センスが発行されると、ライセンスサーバ 10 は、その発行されたライセンス  
10      10      内容をライセンス発行情報として蓄積する。これは、後の保険加入契約時にお  
10      10      ける、保険サービスサーバ 50 からのライセンスの正当性の確認に用いられる。

(5) このようにして、利用者端末 40 を介してライセンス (a)、(b) が  
購入された状態において、利用者端末 40 から保険サービスサーバ 50 の契約処  
理機能 52 に対して、保険加入契約を目的として、ライセンス (a)、(b)  
15      15      の提示とともに保険の加入申し込み要求が送信されると、

(6) 保険サービスサーバ 50 の契約処理機能 52 は、当該提示されたライセン  
ス (a)、(b) について、その正当性をライセンスサーバ 10 に問い合わせ  
る。因みに、ライセンスの内容としては、図 16 に示すように、ライセンスサ  
ーバ 10 を特定する配信主体名、利用者を特定する利用者 ID 及び利用条件 (再  
20      20      生許可、コンテンツ ID、利用期間及びコンテンツ復号鍵) をライセンス購入  
20      20      済み情報として記述しており、保険サービスサーバ 50 は、この記述内容をラ  
イセンスサーバ 10 に照会することにより、ライセンスサーバ 10 に蓄積されて  
いるライセンス発行情報に基づいて、そのライセンスの正当性を判断する。因  
みに、ライセンス購入済み情報としては、図 16 に示したライセンスの内容に  
25      25      加えて、専用データが記述されていたり、又は、ライセンスとは別にライセン  
25      25      ス購入済み情報として専用データ (インデックスファイル等) が用意されてい  
る等、いかなる形態であってもよい。

(7) 図15において、ライセンスが正当であるとの確認結果が得られると、保険サービスサーバ50の契約処理機能52は、これらのライセンス(a)、(b)に対する保険証書と、この保険証書に付与されたライセンス復号鍵(図6)によって暗号化されたライセンス(a)、(b)(これをライセンス(a')、(b')とする)を、利用者端末40に対して送信する。保険証書は、保険対象ライセンスを特定するための情報(ライセンスID等)及び保険適用条件を記述したデータであり、ライセンスが暗号化されている場合には、そのライセンス復号鍵(公開鍵方式、共通鍵方式等は問わない)を含むものである。そして、保険対象が複数ある場合には、それぞれ異なる鍵を用意するようにしてもよい。ライセンス(a')、(b')及び保険証書を受け取った利用者端末40は、これらを蓄積メディア45等の蓄積手段に蓄積する。

(8) このようにして、保険証書の蓄積が完了した利用者端末40は、ライセンスリストを要求する権利を得たこととなり、保険サービスサーバ50のライセンス管理機能55に対して、ライセンスリスト要求を送信する。

(9) ライセンスリスト要求を受け取った保険サービスサーバ50のライセンス管理機能55は、受け取ったライセンスリスト要求によって特定されるライセンス(a')、(b')を含むライセンスリストを利用者端末40に送信する。このライセンスリストに含まれているライセンス(a)、(b)は、無効状態とされる。

このように、図15に示す処理フローにおいては、ライセンスの購入の後に保険加入処理を行うこと(「ライセンス購入後」→「保険加入」)ができる。そして、「購入済みライセンス提示」→「ライセンス正当性確認」→「保険証書発行」の処理手順によってライセンス購入後の保険加入が行われることにより、不正な再配信を防止した円滑な再配信サービスを提供することができる。

また、「保険証書発行」の際にライセンスリストを発行することにより、利用端末40において再配信されたライセンスに基づくコンテンツ利用時に、不正に再配信を受けたライセンスの利用を防止することができる。

図15に示すようなライセンス購入後に保険加入処理を行う場合においても、保険加入契約については、ライセンスサーバ10から独立した保険サービスサーバ50が主体となってその契約及び管理を行うことにより、ライセンスの再配信サービスを容易に導入することができるとともに不正な再配信を防止した、

5 円滑な再配信サービスを提供することができる。因みに、図15に示す処理フローにおいては、利用者40（ユーザ）からのライセンスの購入要求が直接ライセンスサーバ（配信サーバ）10に送られる場合について述べたが、本発明はこれに限らず、利用者端末40から種々の主体を介してライセンスサーバ10に送られるようにしてもよい。また、上述の実施形態においては、ライセンスの

10 購入処理の前に保険加入契約を行う場合、又はライセンスの購入処理の後に保険加入契約を行う場合について述べたが、本発明はこれに限らず、ライセンスの購入処理及び保険加入契約をほぼ同時に行うようにしてもよい。この場合、ライセンスの発行及び保険対象ライセンスを特定する保険証書の発行の発行順序は、いずれが先であってもよい。また、この場合において、ライセンスリス

15 トを発行するタイミングも、ライセンスの発行及び保険証書の発行の前後のいずれであってもよく、ライセンス、保険証書、ライセンスリストの発行順序は特に限定されるものではない。

また、上述の実施形態においては、コンテンツを利用するためのライセンスを購入する場合について述べたが、本発明はこれに限らず、ライセンスを用い

20 ずに、コンテンツを提供する場合においても適用することができる。この場合、図13～図15のライセンスサーバ10に代えてコンテンツサーバ20を用い、ライセンスに代えてコンテンツを提供及び再配信するようにすればよい。この場合には、利用者端末40に対しては、保険サービスサーバ50から利用可能なコンテンツを記述したコンテンツリストが提供され、利用者端末40では、こ

25 のコンテンツリストに有効コンテンツとして記述されているコンテンツのみを利用可能とすることにより、不正に再配信されたコンテンツの利用を禁止することができる。この場合のライセンスリストに変わるコンテンツリストには、

ライセンス識別情報であるライセンスIDに代えて、コンテンツ識別情報であるコンテンツIDが記述されることになる。また、保険証書に記述される保険対象を特定するための情報としては、ライセンスIDに代えて、コンテンツIDが記述されることとなる。

- 5      以上の説明から明らかなように、本実施形態の保険システムは、電子的に配信するライセンスやコンテンツが事故や過失で消失した場合に、その再配信を保障することができる。利用者は、この消失に対する不安から、電子的な配信サービスの利用に躊躇する傾向が有るが、本実施形態の保険システムは、こうした不安を解消して、電子的な配信サービスの利用の促進を図ることができる。
- 10      また、本発明のシステムでは、ライセンスの再配信時に、以前のライセンスを無効化しており、それによりシステムの不正使用を排除することができる。
- また、配信サービス事業者は、このシステムを利用して、大きな負担を伴わずに、提供するサービスへの利用者の信頼性を確保することができる。
- また、配信サービス事業者は、配信フォーマットや蓄積フォーマットを変更
- 15      したり、コンテンツをバージョンアップしたときの利用者対策に、このシステムを利用することができる。
- かくして、本実施形態の保険システムによれば、利用者が蓄積メディアに蓄積した音楽コンテンツを誤って消去したり、マシクラッシュにより音楽コンテンツが消滅した場合であっても、ライセンス又は代替ライセンスの再配信と
- 20      いう救済手段を用いることが可能となる。そのため利用者は、その音楽コンテンツを再度購入する必要はなくなり、コンテンツ等を電子的に配信するサービスに対して利用者が抱く不安を払拭することができる。
- また、コンテンツ配信事業者が利用者の要求に基づいてコンテンツやライセンスの再配信を実行する場合に比べて、コンテンツ配信事業者は、再配信のための特別なサブシステムを開発・導入することが不必要となり、そのための資金を調達が必要がなくなる。
- 25



また、コンテンツやライセンスの紛失を証明することは事実上困難であり、利用者の事故報告の真偽が確認できないが、これに対して、ライセンスリストの発行により不正に再配信を受けたライセンスやコンテンツの利用を困難とすることにより、再配信の不正利用の頻発を防止することができる。

- 5     また、コンテンツ配信事業者側の事情として、利用者が再配信を希望するコンテンツの公開を中止していたり、サーバがダウンしたり、配信サービス業務を停止していたりして、利用者の再配信の要求に応えられない場合においても、代替コンテンツや代替ライセンスの再配信によって、再配信を条件に結ばれたコンテンツの販売契約の、事業者側の契約不履行を防止することができる。
- 10    本明細書は、2001年5月29日出願の特願2001-160803に基づくものである。この内容をここに含めておく。

#### 産業上の利用可能性

- 本発明は、コンテンツ又はコンテンツを利用するためのライセンスをネット
- 15   ワークを介して配信するシステムに用いるに好適である。

## 請求の範囲

1. 電子的に配信する許可データの再配信を保障する保険システムであって、保険への加入を条件に、再配信を受ける権利が発生する保険システム。
2. 前記許可データが、コンテンツの再生を許可するライセンスである請求の範囲 1 記載の保険システム。
3. 前記コンテンツを配信する配信サービス提供者のサーバと、前記コンテンツの再配信を保障する保険サービス提供者の保険サーバと、前記コンテンツの配信サービスを利用する利用者の利用者端末とがネットワークを介して接続している請求の範囲 2 記載の保険システム。
4. 前記保険サービス提供者は、保険に加入した利用者に対して前記コンテンツ及び前記コンテンツのライセンスの再配信を保障する請求の範囲 3 記載の保険システム。
5. 前記保険サービス提供者は、保険加入利用者に保険証書を発行する請求の範囲 4 記載の保険システム。
6. 前記保険証書に、前記保険サーバが公開鍵で暗号化して配送するデータを解くための秘密鍵を含めることを特徴とする請求の範囲 5 記載の保険システム。
7. 前記保険サーバは、保険加入利用者に前記保険証書を配送する請求の範囲 5 記載の保険システム。
8. 前記保険サーバは、前記配信サービス提供者のサーバから発行されたライセンスを、前記公開鍵で暗号化して保険加入利用者の利用者端末に配送する請求の範囲 6 記載の保険システム。
9. 前記保険サーバは、保険加入利用者の利用者端末からの要求に応じて、前記ライセンスを前記利用者端末に再配送する請求の範囲 3 に記載の保険システム。
10. 前記保険サーバは、利用者の了解を得て、保障対象コンテンツに代わる代替コンテンツの再生を許可する代替ライセンスを前記利用者端末に再配送する請求の範囲 9 記載の保険システム。

- 1 1. 前記保険サーバは、コンテンツ配信元と異なる配信サービス提供者が提供するコンテンツの中から前記代替コンテンツを探すようにした請求の範囲 10 記載の保険システム。
- 1 2. 前記保険サーバは、利用者に再配送した前記ライセンスの再配送履歴を  
5 記録し、前記再配送履歴に基づいて、再配信に対する保障条件を決定する請求の範囲 9 または 10 記載の保険システム。
- 1 3. 前記保険サーバは、前記再配送履歴に基づいて、同一コンテンツに対する再配信回数の上限を決定する請求の範囲 1 2 記載の保険システム。
- 1 4. 前記保険サーバは、前記再配送履歴に基づいて、全てのコンテンツを対象とする再配信の合計回数の上限を決定する請求の範囲 1 2 記載の保険システム。  
10 ム。
- 1 5. 前記保険サーバは、前記再配送履歴に基づいて、前記再配信を開始するまでの前置期間を決定する請求の範囲 1 2 記載の保険システム。
- 1 6. 前記保険サーバは、前記再配送履歴に基づいて、保障対象期間を決定する請求の範囲 1 2 記載の保険システム。  
15 ム。
- 1 7. 前記保険サーバは、前記再配送履歴に基づいて、保障対象コンテンツと代替コンテンツとの価格差の上限を決定する請求の範囲 1 2 記載の保険システム。
- 1 8. 前記保険サーバは、他の保険サーバとの間で前記再配送履歴を交換する請求の範囲 1 2 記載の保険システム。  
20 ム。
- 1 9. 前記保険サービス提供者は、前記配信サービス提供者の保険加入に基づいて、前記配信サービス提供者に障害や運用停止が発生したときの利用者の権利を保障する請求の範囲 3 記載の保険システム。
- 2 0. 前記保険サービス提供者は、前記配信サービス提供者の保険加入に基づいて、前記配信サービス提供者が、提供するコンテンツのバージョンアップを実施したときの利用者の再配信を受ける権利を保障する請求の範囲 3 記載の保険システム。  
25 ム。

21. 前記保険サーバは、前記配信サービス提供者が提供するサービスの障害の回数及び復旧までの時間を検出し、検出結果に基づいて前記配信サービス提供者に対する保障条件を決定する請求の範囲19記載の保険システム。
22. 前記保険サーバは、利用者端末において利用可能なライセンスを記述したライセンスリストを管理する請求の範囲4記載の保険システム。
23. 前記ライセンスリストに、失効したライセンスを記述する請求の範囲22記載の保険システム。
24. 前記ライセンスリストの一部がコピーされて前記利用者端末で保持され、前記利用者端末は、コンテンツを再生する際、前記コンテンツに関するライセンスの有効性を前記コピーを参照して判定する請求の範囲22記載の保険システム。
25. 前記利用者端末は、前記コピーから判定できないライセンスの有効性を前記保険サーバに問い合わせる請求の範囲24記載の保険システム。
26. 前記利用者端末は、コンテンツを再生する際、前記コンテンツに関するライセンスの有効性を前記保険サーバに逐一問い合わせる請求の範囲22記載の保険システム。
27. 前記保険サーバが、保険加入利用者の前記配信サービスの利用を受付けて、配信サービス提供者のサーバから発行されたライセンスを前記利用者端末に配信する請求の範囲3記載の保険システム。
28. 前記保険サーバが、前記配信サービス提供者のサーバから配信されたコンテンツを、併せて前記利用者端末に配信する請求の範囲27記載の保険システム。
29. 前記保険サーバは、前記利用者端末に配信する前記ライセンスまたはコンテンツに、保障する再配信の保障条件情報を付加する請求の範囲27または28記載の保険システム。

30. 前記保険サーバは、前記利用者端末に発行する前記コンテンツの電子領収書に、保障する再配信の保障条件情報を付加する請求の範囲27または28に記載の保険システム。

31. 利用者の前記配信サービスの利用を受付けた配信サービス提供者のサーバが、前記保険サーバに保険の付加を依頼し、これを受けて前記保険サーバが、配信されるコンテンツの再配信を保障する請求の範囲3記載の保険システム。

32. 複数の前記保険サーバが、前記ライセンスと前記コンテンツとを分けて保障する請求の範囲4記載の保険システム。

33. 異なる種類のネットワークを通じて配信されるコンテンツの再配信を保障する複数の前記保険サーバが連携している請求の範囲3記載の保険システム。

34. 電子的に配信する許可データの再配信を保障する保険サーバであって、前記許可データとして、コンテンツの再生を許可するライセンスの再配信を保障し、保険に加入した利用者の要求に応じて、配信サービス提供者が発行する前記ライセンスを前記利用者の利用者端末に再配信する保険サーバ。

35. 保険契約を交わす契約処理手段と、保険契約の記録を保管する保険契約データベースと、前記利用者端末が利用可能なライセンスをライセンスリストに基づいて管理するライセンス管理手段と、前記利用者端末から再配信の要求を受け付ける再配送受付手段と、利用者端末への再配送の履歴を保管する再配送履歴データベースとを備える請求の範囲34記載の保険サーバ。

36. 前記契約処理手段は、利用者及び配信サービス提供者との間で保険契約を交わす請求の範囲35記載の保険サーバ。

37. 前記再配送受付手段が、保障対象コンテンツに代わる代替コンテンツの検索機能を有する請求の範囲35記載の保険サーバ。

38. 前記契約処理手段は、利用者との保険契約が成立するごとに公開鍵と秘密鍵とのペアを生成し、前記秘密鍵を含めた保険証書を前記利用者の利用者端末に配送する請求の範囲35記載の保険サーバ。

39. 前記契約処理手段は、配信サービス提供者のサーバから取得した、配信コンテンツのライセンスを、前記公開鍵で暗号化して前記利用者の利用者端末に配送する請求の範囲38記載の保険サーバ。

40. 前記保険契約データベースにより、利用者ごとの保障条件を管理する請求の範囲35記載の保険サーバ。

41. 前記配信サービス提供者が提供するサービスの障害の回数及び／または復旧までの時間を検出する検出手段を具備し、前記契約処理手段は、前記検出手段の検出結果に基づいて前記配信サービス提供者に対する保障条件を決定する請求の範囲36記載の保険サーバ。

10 42. 電子的に配信する許可データの再配信を保障する保険システムに用いる利用者端末であって、

保険サーバが発行した保険証書と暗号化されたコンテンツとを蓄積する蓄積手段と、

15 前記保険サーバを通じて取得したライセンスを保管し、前記コンテンツの再生時に前記コンテンツに対するライセンスの有効性を判定するライセンス利用判定手段と、

前記ライセンスが有効であるとき、前記ライセンスに含まれる復号鍵を用いて前記コンテンツを復号化する再生手段と、

20 前記ライセンスまたは前記コンテンツを消失したとき、前記ライセンスまたは前記コンテンツの再配送を前記保険サーバに要求する再配送要求手段とを備える利用者端末。

43. 前記保険サーバに保管されているライセンスリストの一部のデータを保持する自端末用ライセンスリストを具備し、前記ライセンス利用判定手段は、前記自端末用ライセンスリストを参照して、ライセンスの有効性を判定し、前記自端末用ライセンスリストのデータからでは判定できないとき、前記保険サーバにライセンスの有効性を問い合わせる請求の範囲42記載の利用者端末。

25

- 4 4. 前記ライセンス利用判定手段は、ライセンスの有効性を判定するとき、その全件について前記保険サーバにライセンスの有効性を問い合わせる請求の範囲 4 2 記載の利用者端末。
- 4 5. 電子的に配信する許可データの再配信を保障する保険システムに用いる
- 5 配信サービス提供者のサーバであって、
- 請求の範囲 3 4 から 4 1 のいずれかに記載の保険サーバの機能が組み込まれたサーバ。
- 4 6. コンテンツの利用を許可するライセンスを発行する配信サービス提供者サーバと、
- 10 前記発行されたライセンスに基づいてコンテンツを利用する利用者端末と、  
前記ライセンスの再発行を保障する保険サーバと  
を具備する保険システム。
- 4 7. コンテンツの利用を許可するライセンスを発行する配信サービス提供者サーバと、
- 15 前記発行されたライセンスに基づいてコンテンツを利用する利用者端末と、  
前記ライセンスの再発行を保障する保険サーバと  
を具備し、前記ライセンスの再発行の要求は、前記保険サーバを介して前記  
配信サービス提供者サーバに送られる保険システム。
- 4 8. 前記保険サーバは、前記再発行の要求に基づいて、再発行すべきライセンスの発行可否を判断し、この判断結果に基づいて、前記再発行すべきライセンス又はその他の代替コンテンツを利用するための代替ライセンスを前記再発行の要求に応じて発行する請求の範囲 4 7 記載の保険システム。
- 20 4 9. コンテンツの利用を許可するライセンスをその購入処理に対して発行する配信サービス提供者サーバと、
- 25 前記発行されたライセンスに基づいてコンテンツを利用する利用者端末と、  
前記ライセンスの再発行を、所定の保険加入処理に基づいて保障する保険サーバと、

を具備し、前記保険サーバは、前記ライセンスの購入済み情報に基づいてその購入済み情報の正当性を確認し、この確認結果に基づいて、前記保険加入処理を行う保険システム。

50. 前記保険サーバは、前記保険加入処理において、前記ライセンスの再発行を保障する保険証情報を発行する請求の範囲49記載の保険システム。

51. 前記保険サーバは、前記保険加入処理において、その保険の加入者が利用可能なライセンスを示すライセンスリスト情報を発行する請求の範囲49記載の保険システム。

52. コンテンツの利用を許可するライセンスをその購入処理に対して発行する配信サービス提供者サーバと、

前記発行されたライセンスに基づいてコンテンツを利用する利用者端末と、  
前記ライセンスの再発行を、所定の保険加入処理に基づいて保障する保険サーバと、

を具備し、前記保険サーバは、前記保険加入処理において、前記ライセンスの再発行を保障する仮保険証情報を発行した後、前記ライセンスの購入要求及び前記発行済みの仮保険証情報の提示に基づいて、前記ライセンスの発行及びこのライセンスの発行に対応して前記仮保険証情報が更新されてなる本保険証情報の発行を行う保険システム。

53. 前記保険サーバは、前記本保険証情報の発行処理において、その保険の加入者が利用可能なライセンスを示すライセンスリスト情報を発行する請求の範囲52記載の保険システム。

54. コンテンツの利用を許可するライセンスを発行する配信サービス提供者サーバと、

前記発行されたライセンスに基づいてコンテンツを利用する利用者端末と、  
前記ライセンスの再発行を、所定の保険加入処理に基づいて保障する保険サーバと、

を具備し、前記保険サーバは、前記再発行が保障されるライセンスを特定し



た保険証情報を発行することを特徴とする保険システム。

55. 前記保険サーバは、前記保険の加入者が利用可能なライセンスを示すライセンスリスト情報を発行する請求の範囲54記載の保険システム。

56. コンテンツの利用を許可するライセンスを発行する配信サービス提供者サーバと、

前記発行されたライセンスに基づいてコンテンツを利用する利用者端末と、

前記ライセンスの再発行を、所定の保険加入処理に基づいて保障する保険サーバと、

を具備し、前記保険サーバは、前記ライセンスの再発行を保障するための情報として、保障対象となるライセンスを特定する情報と、保障の適用条件を表わす情報と、を含む保険証情報を前記保険加入処理に基づいて発行する保険システム。

57. 前記保険証情報は、前記保障対象となるライセンスの暗号化を解くための復号鍵を含むことを特徴とする請求の範囲56記載の保険システム。

58. コンテンツの利用を許可するライセンスを発行する配信サービス提供者サーバと、

前記発行されたライセンスに基づいてコンテンツを利用する利用者端末と、

前記ライセンスの再発行を、所定の保険加入処理に基づいて保障する保険サーバと、

を具備し、前記保険サーバは、前記保険の加入者が利用可能なライセンスの識別情報及びこのライセンスの有効の有無情報を含むライセンスリスト情報を発行する保険システム。

59. 前記保険サーバは、前記ライセンスの再発行の実施に基づいて、前記ライセンスリスト情報の該当ライセンスを無効にするとともに、前記再発行されたライセンスに対応した新たな識別情報を有効情報として前記ライセンスリスト情報に加える請求の範囲58記載の保険システム。

60. 前記利用者端末は、前記ライセンスリスト情報において有効でないライ

センスの実行を禁止する請求の範囲 5 8 又は 5 9 記載の保険システム。

- 6 1. コンテンツを提供する配信サービス提供者サーバと、  
前記提供されたコンテンツを利用する利用者端末と、  
前記コンテンツの再提供を保障する保険サーバと  
5 を具備する保険システム。
- 6 2. コンテンツを提供する配信サービス提供者サーバと、  
前記提供されたコンテンツを利用する利用者端末と、  
前記コンテンツの再提供を保障する保険サーバと  
を具備し、前記コンテンツの再提供の要求は、前記保険サーバを介して前記  
10 配信サービス提供者サーバに送られる保険システム。
- 6 3. 前記保険サーバは、前記再提供の要求に基づいて、再提供すべきコンテンツの提供可否を判断し、この判断結果に基づいて、前記再提供すべきコンテンツ又はその他の代替コンテンツを前記再提供の要求に応じて提供する請求の範囲 6 2 記載の保険システム。
- 15 6 4. コンテンツをその購入処理に対して提供する配信サービス提供者サーバと、  
前記提供されたコンテンツを利用する利用者端末と、  
前記コンテンツの再提供を、所定の保険加入処理に基づいて保障する保険サーバと、  
20 を具備し、前記保険サーバは、前記コンテンツの購入済み情報に基づいてその購入済み情報の正当性を確認し、この確認結果に基づいて、前記保険加入処理を行う保険システム。
- 6 5. 前記保険サーバは、前記保険加入処理において、前記コンテンツの再提供を保障する保険証情報を発行する請求の範囲 6 4 記載の保険システム。
- 25 6 6. 前記保険サーバは、前記保険加入処理において、その保険の加入者が利用可能なコンテンツを示すコンテンツリスト情報を発行する請求の範囲 6 4 記載の保険システム。

67. コンテンツをその購入処理に対して提供する配信サービス提供者サーバと、

前記提供されたコンテンツを利用する利用者端末と、

前記コンテンツの再提供を、所定の保険加入処理に基づいて保障する保険サーバと、

を具備し、前記保険サーバは、前記保険加入処理において、前記コンテンツの再提供を保障する仮保険証情報を発行した後、前記コンテンツの購入要求及び前記発行済みの仮保険証情報の提示に基づいて、前記コンテンツの提供及びこのコンテンツの提供に対応して前記仮保険証情報が更新されてなる本保険証情報の発行を行う保険システム。

68. 前記保険サーバは、前記本保険証情報の発行処理において、その保険の加入者が利用可能なコンテンツを示すコンテンツリスト情報を発行する請求の範囲67記載の保険システム。

69. コンテンツを提供する配信サービス提供者サーバと、

前記提供されたコンテンツを利用する利用者端末と、

前記コンテンツの再提供を、所定の保険加入処理に基づいて保障する保険サーバと、

を具備し、前記保険サーバは、前記再提供が保障されるコンテンツを特定した保険証情報を発行する保険システム。

70. 前記保険サーバは、前記保険の加入者が利用可能なコンテンツを示すコンテンツリスト情報を発行する請求の範囲69記載の保険システム。

71. コンテンツを提供する配信サービス提供者サーバと、

前記提供されたコンテンツを利用する利用者端末と、

前記コンテンツの再提供を、所定の保険加入処理に基づいて保障する保険サーバと、

を具備し、前記保険サーバは、前記コンテンツの再提供を保障するための情報として、保障対象となるコンテンツを特定する情報と、保障の適用条件を表

わす情報と、を含む保険証情報を前記保険加入処理に基づいて発行する保険システム。

72. 前記保険証情報は、前記保障対象となるコンテンツの暗号化を解くための復号鍵を含む請求の範囲71記載の保険システム。

- 5 73. コンテンツを提供する配信サービス提供者サーバと、  
前記提供されたコンテンツを利用する利用者端末と、  
前記コンテンツの再提供を、所定の保険加入処理に基づいて保障する保険サーバと、

- を具備し、前記保険サーバは、前記保険の加入者が利用可能なコンテンツの  
10 識別情報及びこのコンテンツの有効の有無情報を含むコンテンツリスト情報を発行する保険システム。

74. 前記保険サーバは、前記コンテンツの再提供の実施に基づいて、前記コンテンツリスト情報の該当コンテンツを無効にするとともに、前記再提供されたコンテンツに対応した新たな識別情報を有効情報として前記コンテンツリス  
15 ト情報に加える請求の範囲73記載の保険システム。

75. 前記利用者端末は、前記コンテンツリスト情報において有効でないコンテンツの利用を禁止する請求の範囲73又は74記載の保険システム。

76. 配信サービス提供者サーバにおいて発行される、コンテンツの利用を許可するライセンスの、再発行を保障する保険システムの保険サーバであって、

- 20 前記利用者端末から供給される前記ライセンスの再発行の要求を、前記配信サービス提供者サーバに供給する保険サーバ。

77. 前記再発行の要求に基づいて、再発行すべきライセンスの発行可否を判断し、この判断結果に基づいて、前記再発行すべきライセンス又はその他の代替コンテンツを利用するための代替ライセンスを前記再発行の要求に応じて発行  
25 する請求の範囲76記載の保険サーバ。

78. 配信サービス提供者サーバにおいて所定の購入処理に応じて発行される、コンテンツの利用を許可するライセンスの、再発行を所定の保険加入処理に基

づいて保障する保険システムの保険サーバであって、

前記ライセンスの購入済み情報に基づいてその購入済み情報の正当性を確認し、この確認結果に基づいて、前記保険加入処理を行う保険サーバ。

79. 配信サービス提供者サーバにおいて所定の購入処理に応じて発行される  
5 コンテンツの利用を許可するライセンスの、再発行を所定の保険加入処理に基づいて保障する保険システムの保険サーバであって、

- 前記保険加入処理において、前記ライセンスの再発行を保障する仮保険証情報を発行した後、前記ライセンスの購入要求及び前記発行済みの仮保険証情報の提示に基づいて、前記ライセンスの発行及びこのライセンスの発行に対応し  
10 て前記仮保険証情報が更新されてなる本保険証情報の発行を行う保険サーバ。

80. 配信サービス提供者サーバにおいて発行される、コンテンツの利用を許可するライセンスの、再発行を保障する保険システムの保険サーバであって、

前記再発行が保障されるライセンスを特定した保険証情報を発行する保険サーバ。

- 15 81. 配信サービス提供者サーバにおいて発行される、コンテンツの利用を許可するライセンスの、再発行を所定の保険加入処理に基づいて保障する保険システムの保険サーバであって、

- 前記ライセンスの再発行を保障するための情報として、保障対象となるライセンスを特定する情報と、保障の適用条件を表わす情報と、を含む保険証情報を  
20 を前記保険加入処理に基づいて発行する保険サーバ。

82. 配信サービス提供者サーバにおいて発行される、コンテンツの利用を許可するライセンスの、再発行を所定の保険加入処理に基づいて保障する保険システムの保険サーバであって、

- 前記保険の加入者が利用可能なライセンスの識別情報及びこのライセンスの有効の有無情報を含むライセンスリスト情報を発行する保険サーバ。  
25

83. 配信サービス提供者サーバから提供されるコンテンツの、再提供を保障する保険システムの保険サーバであって、

前記利用者端末から供給される前記コンテンツの再提供の要求を、前記配信サービス提供者サーバに供給する保険サーバ。

84. 前記再提供の要求に基づいて、再提供すべきコンテンツの提供可否を判断し、この判断結果に基づいて、前記再提供すべきコンテンツ又はその他の代替コンテンツを前記再提供の要求に応じて提供する請求の範囲83記載の保険サーバ。

85. 配信サービス提供者サーバから所定の購入処理に応じて提供されるコンテンツの、再提供を所定の保険加入処理に基づいて保障する保険システムの保険サーバであって、

- 10 前記コンテンツの購入済み情報に基づいてその購入済み情報の正当性を確認し、この確認結果に基づいて、前記保険加入処理を行う保険サーバ。

86. 配信サービス提供者サーバから所定の購入処理に応じて提供されるコンテンツの、再提供を所定の保険加入処理に基づいて保障する保険システムの保険サーバであって、

- 15 前記保険加入処理において、前記コンテンツの再提供を保障する仮保険証情報を発行した後、前記コンテンツの購入要求及び前記発行済みの仮保険証情報の提示に基づいて、前記コンテンツの提供及びこのコンテンツの提供に対応して前記仮保険証情報が更新されてなる本保険証情報の発行を行う保険サーバ。

87. 配信サービス提供者サーバから提供されるコンテンツの、再提供を保障する保険システムの保険サーバであって、

前記再提供が保障されるコンテンツを特定した保険証情報を発行する保険サーバ。

88. 配信サービス提供者サーバから提供されるコンテンツの、再提供を所定の保険加入処理に基づいて保障する保険システムの保険サーバであって、

- 25 前記コンテンツの再提供を保障するための情報として、保障対象となるコンテンツを特定する情報と、保障の適用条件を表わす情報と、を含む保険証情報を前記保険加入処理に基づいて発行する保険サーバ。

89. 配信サービス提供者サーバから提供されるコンテンツの、再提供を所定の保険加入処理に基づいて保障する保険システムの保険サーバであって、

前記保険の加入者が利用可能なコンテンツの識別情報及びこのコンテンツの有効の有無情報を含むコンテンツリスト情報を発行する保険サーバ。

- 5 90. コンテンツの利用を許可するライセンスを発行する配信サービス提供者サーバであって、

前記ライセンスの再発行を保障する保険サーバからのライセンス発行要求に基づいてライセンスを発行し、この発行されたライセンスを前記保険サーバに返送する配信サービス提供サーバ。

- 10 91. コンテンツを提供する配信サービス提供者サーバであって、

前記コンテンツの再提供を保障する保険サーバからのコンテンツ要求に基づいて前記コンテンツを前記保険サーバに返送する配信サービス提供サーバ。

92. 配信サービス提供者サーバにおいて発行される、コンテンツの利用を許可するライセンスに基づいて、前記コンテンツの利用を行う利用者端末であつ

- 15 て、

前記ライセンスの再発行を保障する保険サーバとの間の保険加入処理を行うとともに、前記保険加入処理に応じて前記保険サーバから供給された前記ライセンスのリスト情報に基づきコンテンツの利用を行う利用者端末。

- 20 93. 配信サービス提供者サーバから提供されるコンテンツを利用する利用者端末であって、

前記コンテンツの再提供を保障する保険サーバとの間の保険加入処理を行うとともに、前記保険加入処理に応じて前記保険サーバから供給された利用可能なコンテンツのリスト情報に基づきコンテンツの利用を行う利用者端末。

- 25 94. 配信サービス提供者サーバにおいて発行される、コンテンツの利用を許可するライセンスの、再発行を保障する保険システムの保険サーバにおいて実行される処理プログラムであって、

前記利用者端末から供給される前記ライセンスの再発行の要求を、前記配信

サービス提供者サーバに供給する再発行要求ステップを具備する処理プログラム。

- 9 5. 前記再発行の要求に基づいて、再発行すべきライセンスの発行可否を判断する判断ステップと、この判断結果に基づいて、前記再発行すべきライセンス又はその他の代替コンテンツを利用するための代替ライセンスを前記再発行の要求に応じて発行する発行ステップとを具備する請求の範囲 9 4 記載の処理プログラム。

- 9 6. 配信サービス提供者サーバにおいて所定の購入処理に応じて発行される、コンテンツの利用を許可するライセンスの、再発行を所定の保険加入処理に基づいて保障する保険システムの保険サーバにおいて実行される処理プログラムであって、

前記ライセンスの購入済み情報に基づいてその購入済み情報の正当性を確認する確認ステップと、この確認結果に基づいて、前記保険加入処理を行う保険加入処理ステップとを具備する処理プログラム。

- 15 9 7. 配信サービス提供者サーバにおいて所定の購入処理に応じて発行されるコンテンツの利用を許可するライセンスの、再発行を所定の保険加入処理に基づいて保障する保険システムの保険サーバにおいて実行される処理プログラムであって、

- 前記保険加入処理において、前記ライセンスの再発行を保障する仮保険証情報を発行する仮発行ステップと、前記ライセンスの購入要求及び前記発行済みの仮保険証情報の提示に基づいて、前記ライセンスの発行及びこのライセンスの発行に対応して前記仮保険証情報が更新されてなる本保険証情報の発行を行う本発行ステップとを具備する処理プログラム。

- 9 8. 配信サービス提供者サーバにおいて発行される、コンテンツの利用を許可するライセンスの、再発行を保障する保険システムの保険サーバにおいて実行される処理プログラムであって、

前記再発行が保障されるライセンスを特定した保険証情報を発行する発行ス



テップを具備する処理プログラム。

99. 配信サービス提供者サーバにおいて発行される、コンテンツの利用を許可するライセンスの、再発行を所定の保険加入処理に基づいて保障する保険システムの保険サーバにおいて実行される処理プログラムであって、

- 5 前記ライセンスの再発行を保障するための情報として、保障対象となるライセンスを特定する情報と、保障の適用条件を表わす情報と、を含む保険証情報を前記保険加入処理に基づいて発行する発行ステップを具備する処理プログラム。

100. 配信サービス提供者サーバにおいて発行される、コンテンツの利用を許可するライセンスの、再発行を所定の保険加入処理に基づいて保障する保険システムの保険サーバにおいて実行される処理プログラムであって、

前記保険の加入者が利用可能なライセンスの識別情報及びこのライセンスの有効の有無情報を含むライセンスリスト情報を発行する発行ステップを具備する処理プログラム。

- 15 101. 配信サービス提供者サーバから提供されるコンテンツの、再提供を保障する保険システムの保険サーバにおいて実行される処理プログラムであって、

前記利用者端末から供給される前記コンテンツの再提供の要求を、前記配信サービス提供者サーバに供給する供給ステップを具備する処理プログラム。

- 20 102. 前記再提供の要求に基づいて、再提供すべきコンテンツの提供可否を判断する判断ステップと、この判断結果に基づいて、前記再提供すべきコンテンツ又はその他の代替コンテンツを前記再提供の要求に応じて提供する提供ステップとを具備する請求の範囲100記載の処理プログラム。

103. 配信サービス提供者サーバから所定の購入処理に応じて提供されるコンテンツの、再提供を所定の保険加入処理に基づいて保障する保険システムの保険サーバにおいて実行される処理プログラムであって、

前記コンテンツの購入済み情報に基づいてその購入済み情報の正当性を確認する確認ステップと、この確認結果に基づいて、前記保険加入処理を行う保険

加入ステップとを具備する処理プログラム。

104. 配信サービス提供者サーバから所定の購入処理に応じて提供されるコンテンツの、再提供を所定の保険加入処理に基づいて保障する保険システムの保険サーバにおいて実行される処理プログラムであって、

- 5 前記保険加入処理において、前記コンテンツの再提供を保障する仮保険証情報を発行する仮発行ステップと、前記コンテンツの購入要求及び前記発行済みの仮保険証情報の提示に基づいて、前記コンテンツの提供及びこのコンテンツの提供に対応して前記仮保険証情報が更新されてなる本保険証情報の発行を行う本発行ステップとを具備する処理プログラム。

- 10 105. 配信サービス提供者サーバから提供されるコンテンツの、再提供を保障する保険システムの保険サーバにおいて実行される処理プログラムであって、  
前記再提供が保障されるコンテンツを特定した保険証情報を発行する発行ステップを具備する処理プログラム。

106. 配信サービス提供者サーバから提供されるコンテンツの、再提供を所定の保険加入処理に基づいて保障する保険システムの保険サーバにおいて実行される処理プログラムであって、

- 前記コンテンツの再提供を保障するための情報として、保障対象となるコンテンツを特定する情報と、保障の適用条件を表わす情報と、を含む保険証情報を前記保険加入処理に基づいて発行する発行ステップを具備する処理プログラム。  
20

107. 配信サービス提供者サーバから提供されるコンテンツの、再提供を所定の保険加入処理に基づいて保障する保険システムの保険サーバにおいて実行される処理プログラムであって、

- 前記保険の加入者が利用可能なコンテンツの識別情報及びこのコンテンツの有効の有無情報を含むコンテンツリスト情報を発行する発行ステップを具備する処理プログラム。  
25

108. コンテンツの利用を許可するライセンスを発行する配信サービス提供

者サーバにおいて実行される処理プログラムであって、

前記ライセンスの再発行を保障する保険サーバからのライセンス発行要求に基づいてライセンスを発行する発行ステップと、この発行されたライセンスを前記保険サーバに返送する返送ステップとを具備する処理プログラム。

- 5    109. コンテンツを提供する配信サービス提供者サーバにおいて実行される処理プログラムであって、

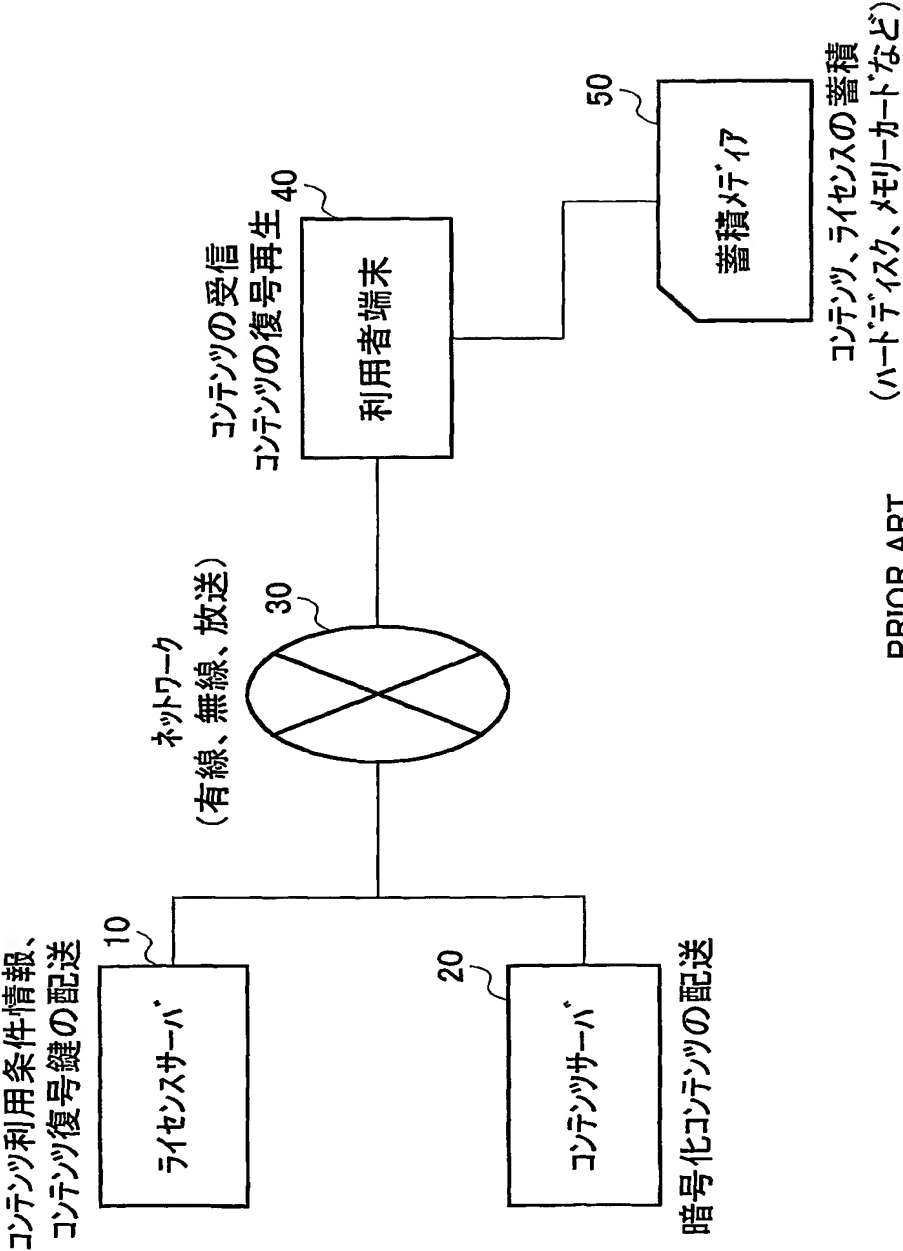
前記コンテンツの再提供を保障する保険サーバからのコンテンツ要求に基づいて前記コンテンツを前記保険サーバに返送する返送ステップを具備する処理プログラム。

- 10    110. 配信サービス提供者サーバにおいて発行される、コンテンツの利用を許可するライセンスに基づいて、前記コンテンツの利用を行う利用者端末において実行される処理プログラムであって、

前記ライセンスの再発行を保障する保険サーバとの間の保険加入処理を行う保険加入処理ステップと、前記保険加入処理に応じて前記保険サーバから供給された前記ライセンスのリスト情報に基づきコンテンツの利用を行うコンテンツ利用ステップとを具備する処理プログラム。

- 15    111. 配信サービス提供者サーバから提供されるコンテンツを利用する利用者端末において実行される処理プログラムであって、

- 20    前記コンテンツの再提供を保障する保険サーバとの間の保険加入処理を行う保険加入処理ステップと、前記保険加入処理に応じて前記保険サーバから供給された利用可能なコンテンツのリスト情報に基づきコンテンツの利用を行うコンテンツ利用ステップとを具備する処理プログラム。



PRIOR ART

図1

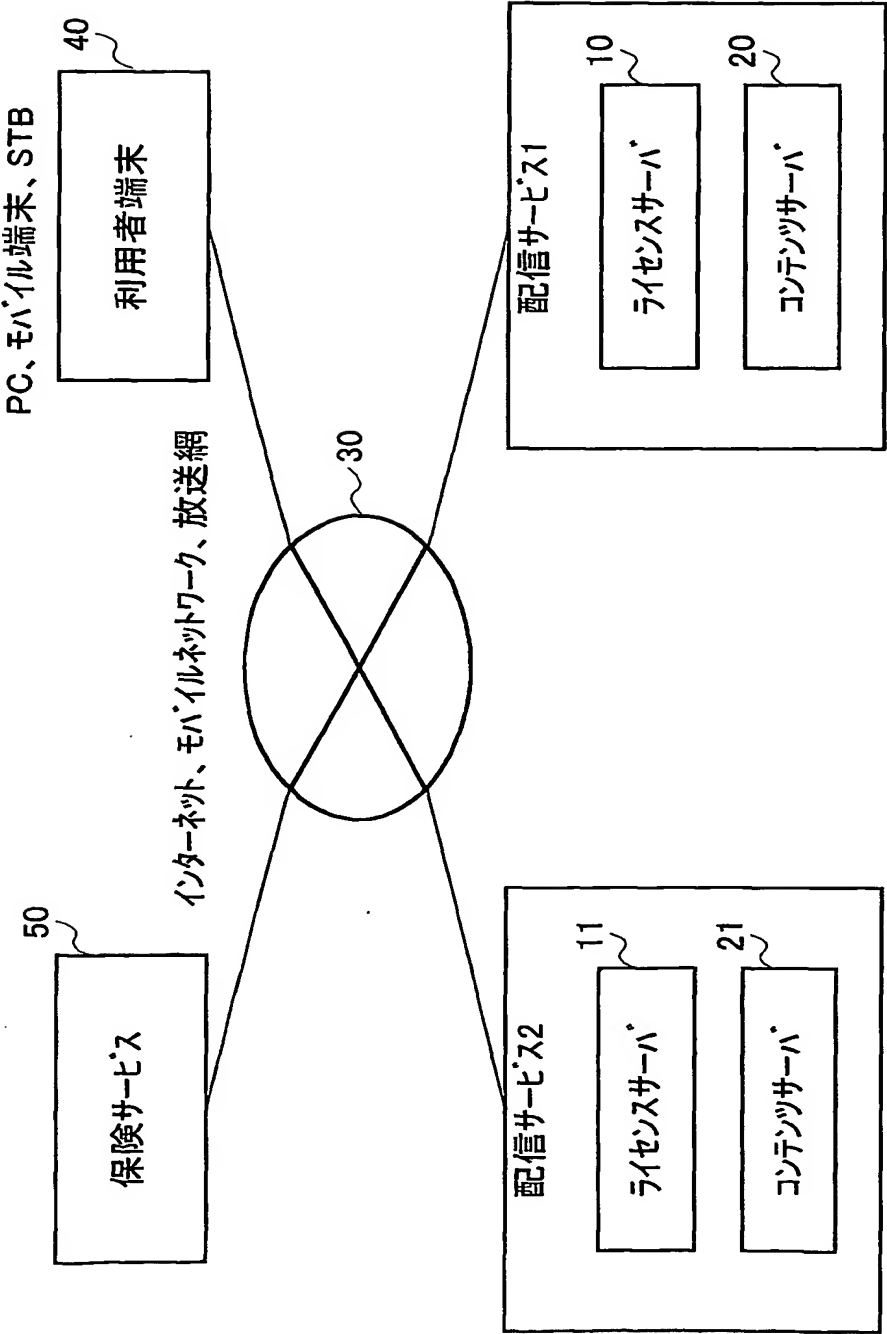
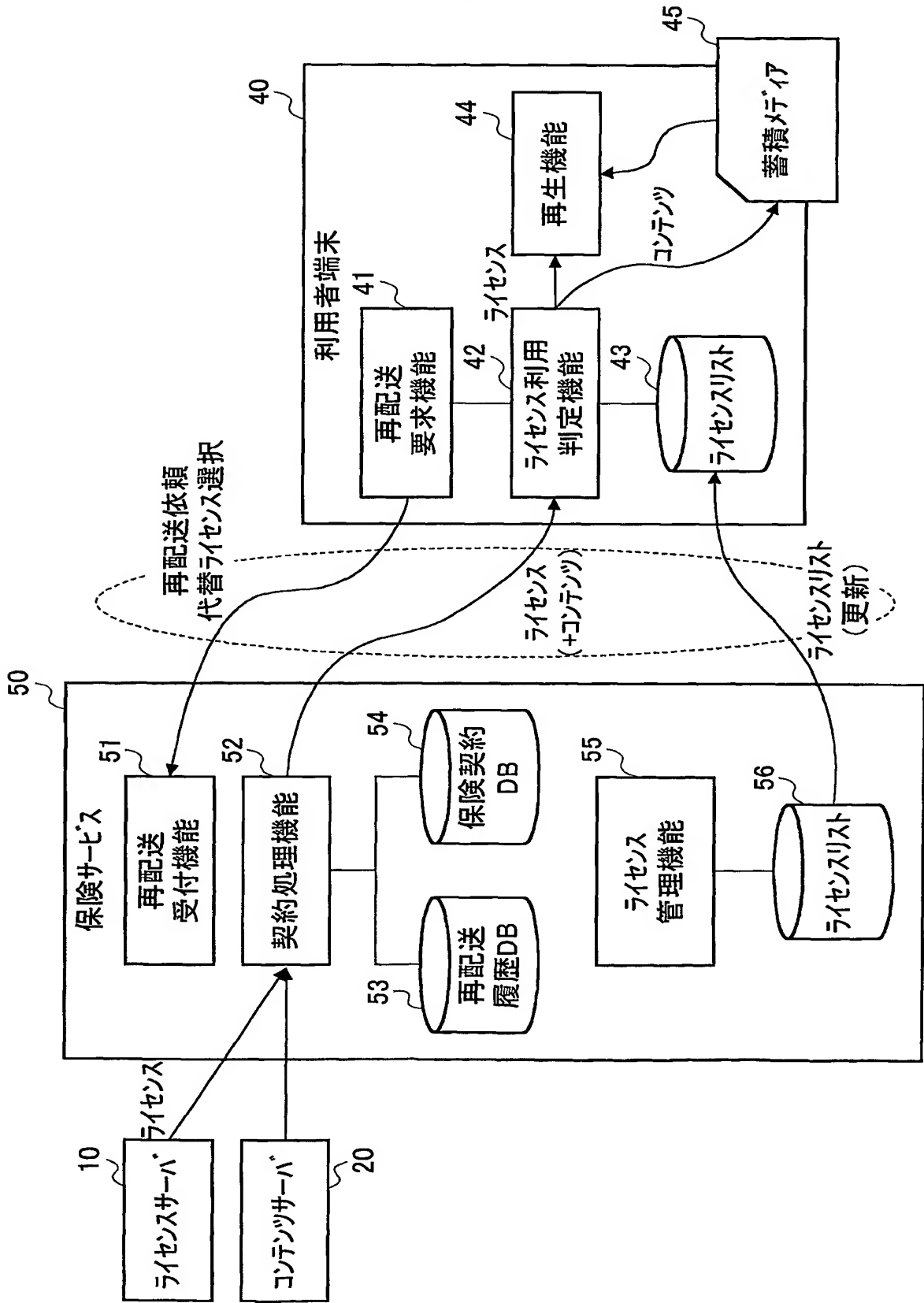


図2



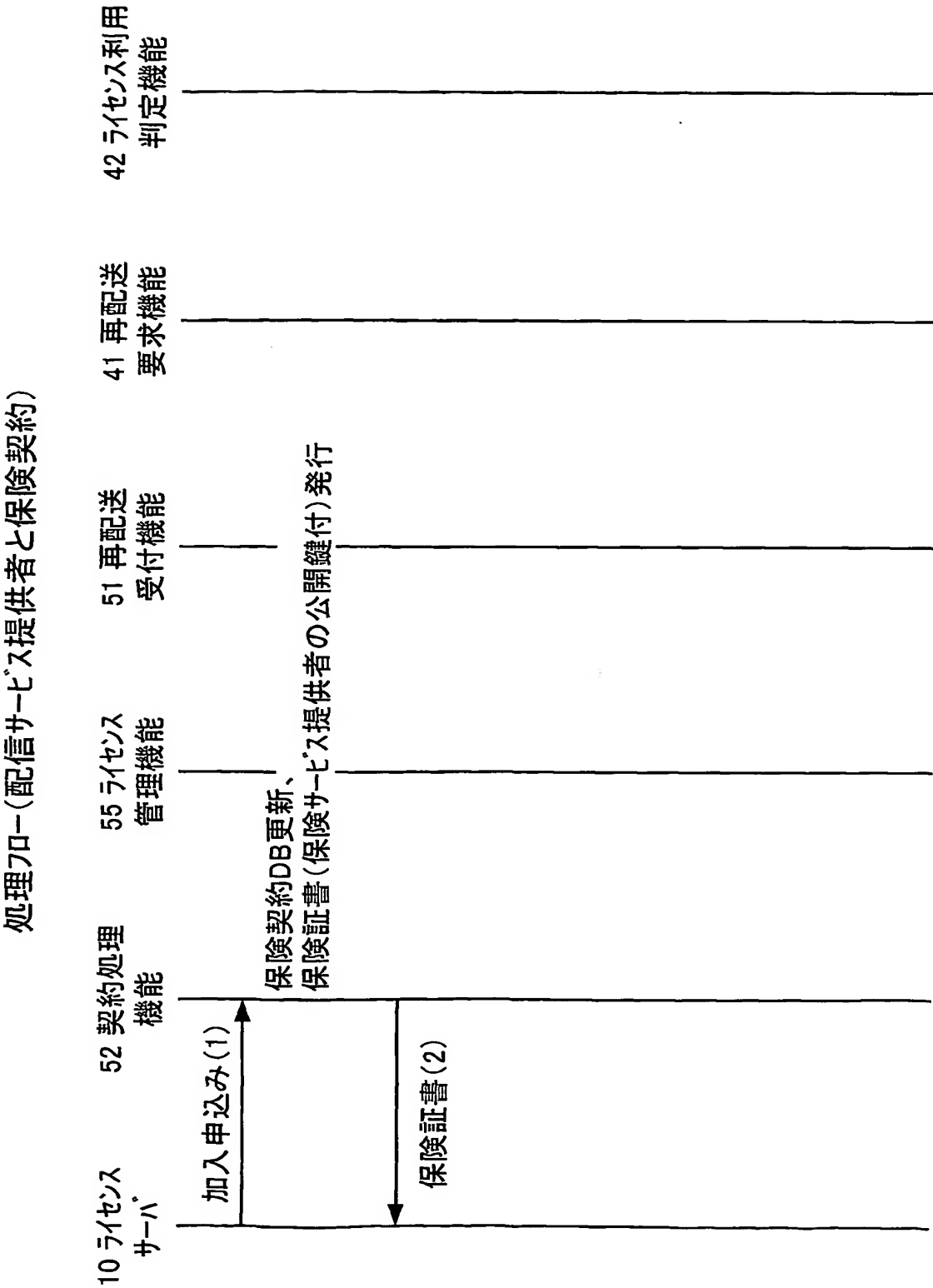


図4

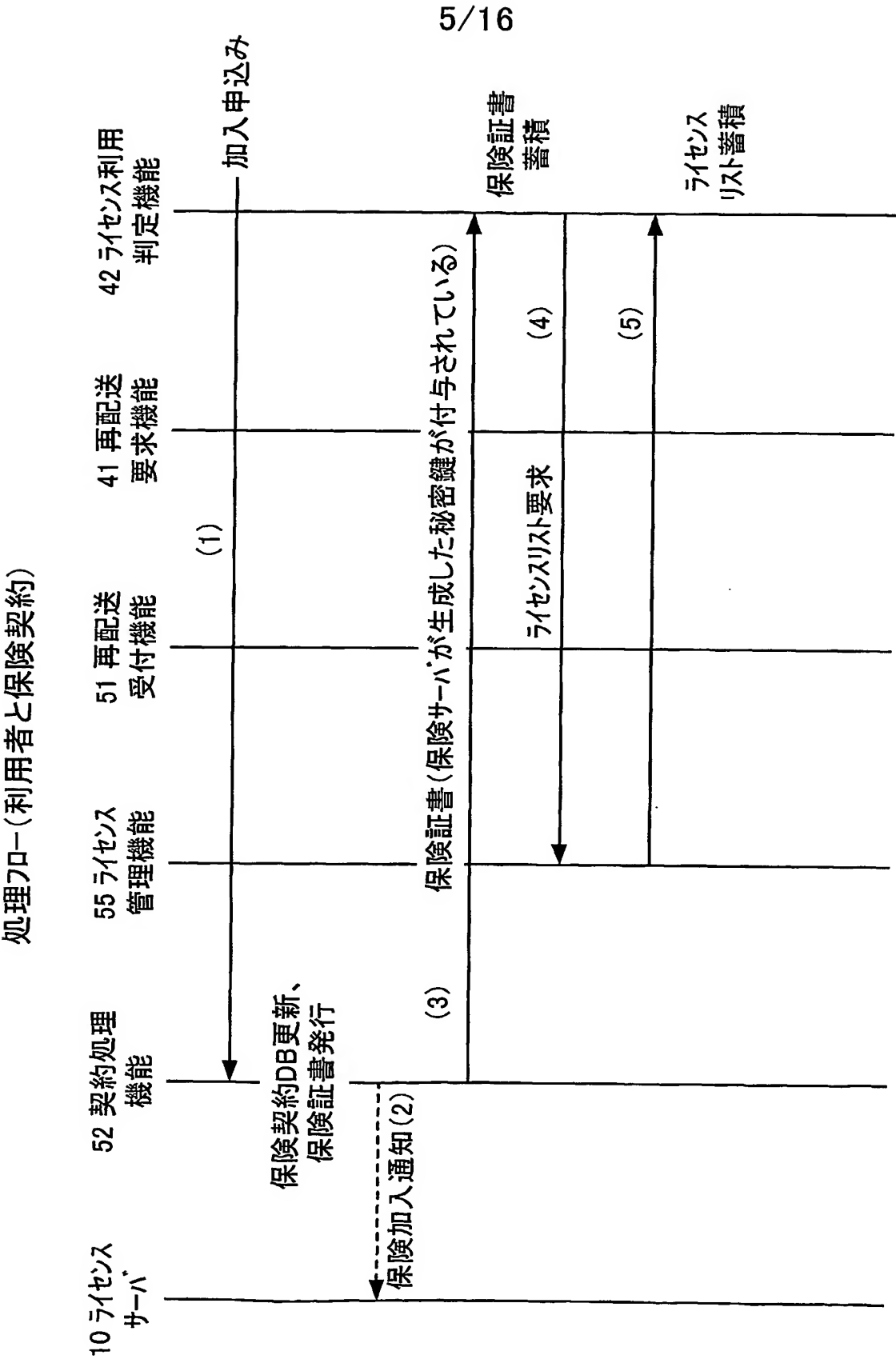


図5



保障条件の決定

再配達履歴DB

利用者	初回契約年月日	再ライセンス回数	補償総額(実績)	...
A	2001/4/2	0	0	...
B	2001/4/10	3	1,200	...
:				

図6A

保障条件

保険契約DB

保険契約ID	ID500104581
被保険者	B
保障対象ライセンスID	5001、5002、5003、5329
保険料(円/コンテンツ)	20
保障期間	2001/4/3~2003/4/2
再ライセンス開始日	2001/5/3
再ライセンス回数上限	3
代替コンテンツとの価格差の上限(円/コンテンツ)	100
ライセンス復号鍵	aRy2jWXv001L7wPG
:	:

図6B

- ・保険証書として発行する場合
- ・ライセンスに付与して送付する場合
- ・電子領収書に明記する場合
- ・以上の組合せ

ライセンスリスト

ライセンスID	失効年月日	失効事由
5003	2001/4/1	紛失により再配信
5011	-	-
5783	2001/4/2	供給側業務停止により代替ライセンス配信
5822	2001/4/3	供給側コンテンツバージョンアップ
5991	-	-
:	:	:

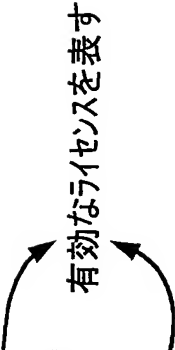


図7

処理フロー(ライセンス配送時)

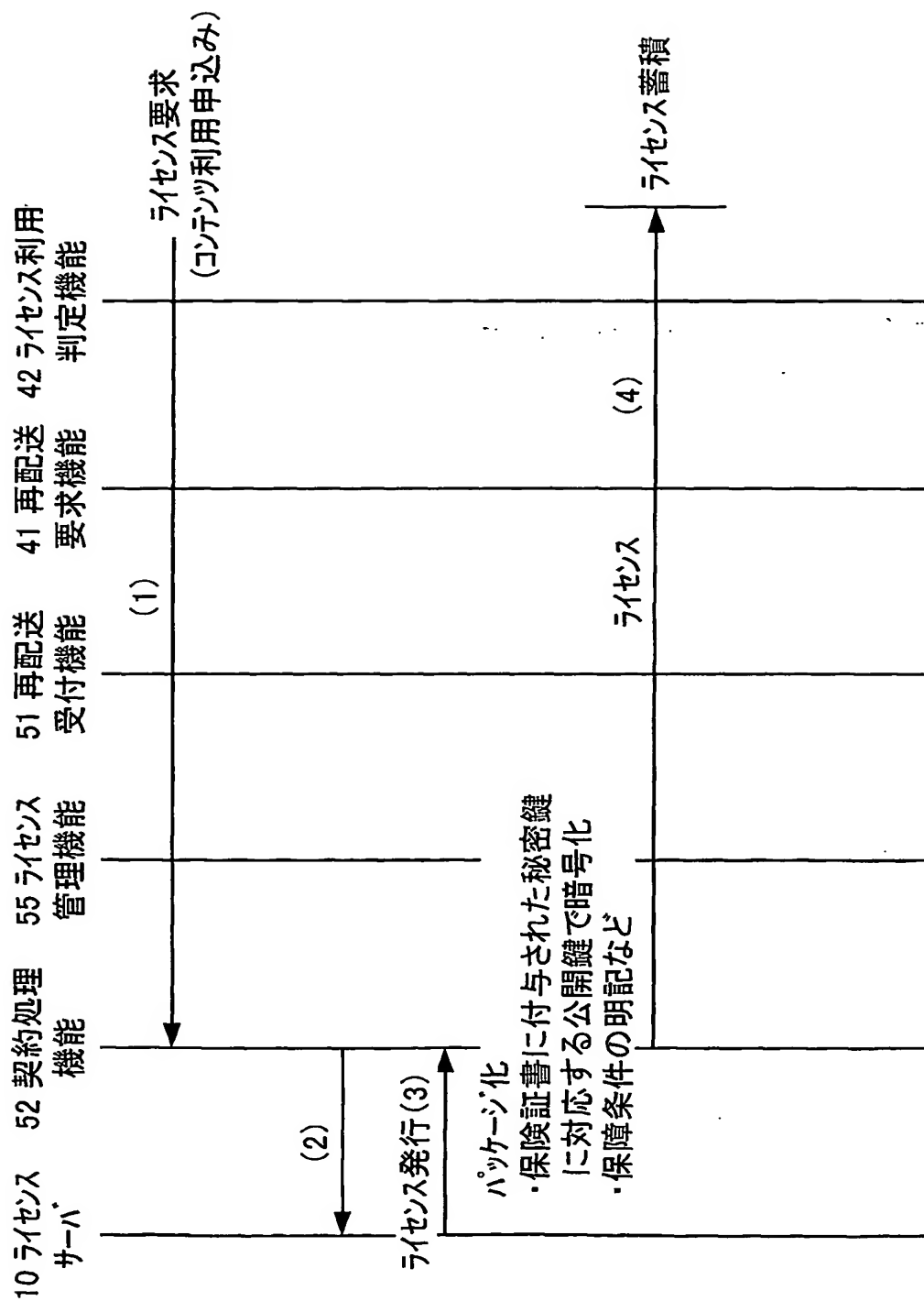


図8

9/16

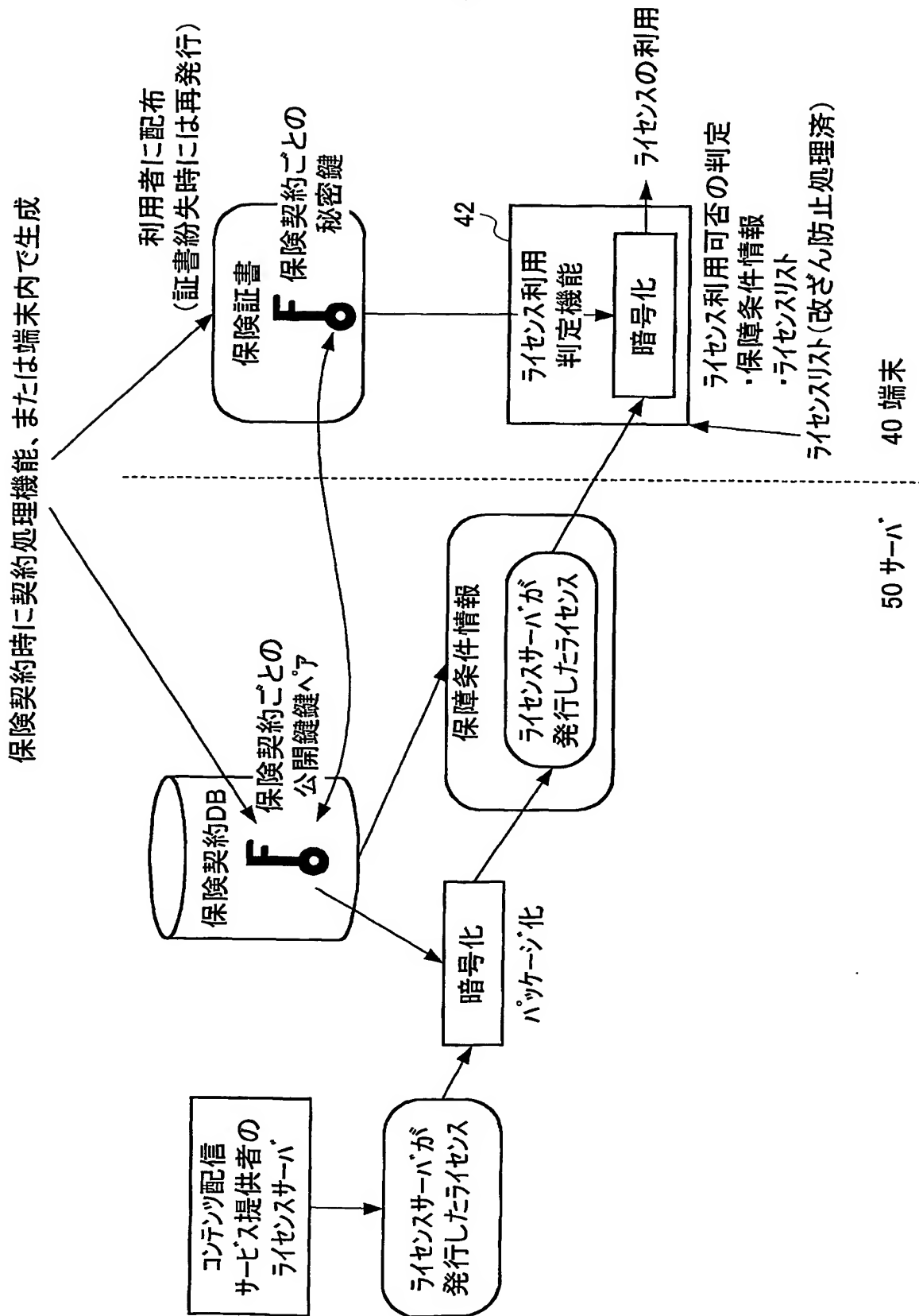


図9

処理フロー(コンテンツ利用時:音楽再生時など)

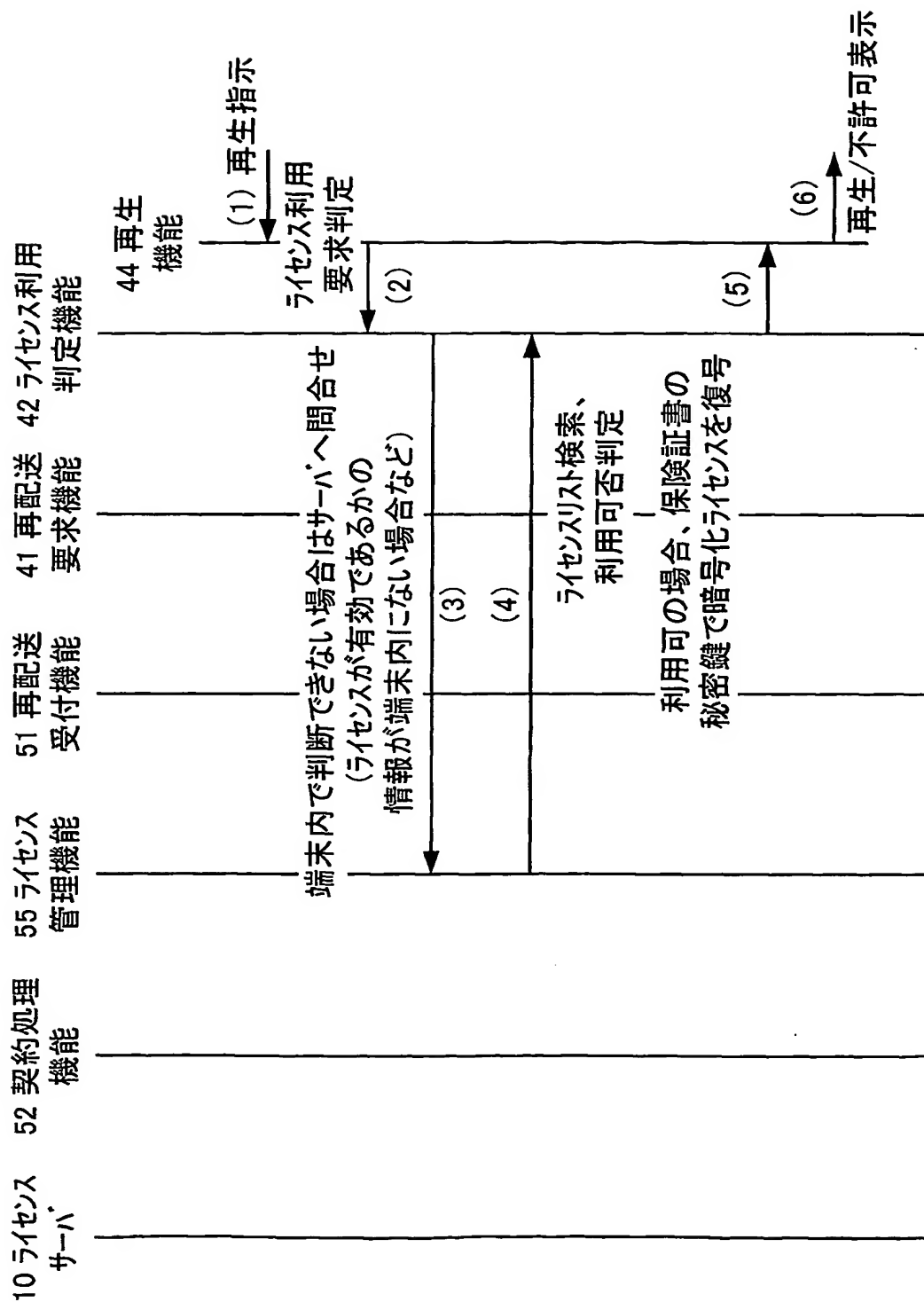


図10

11/16

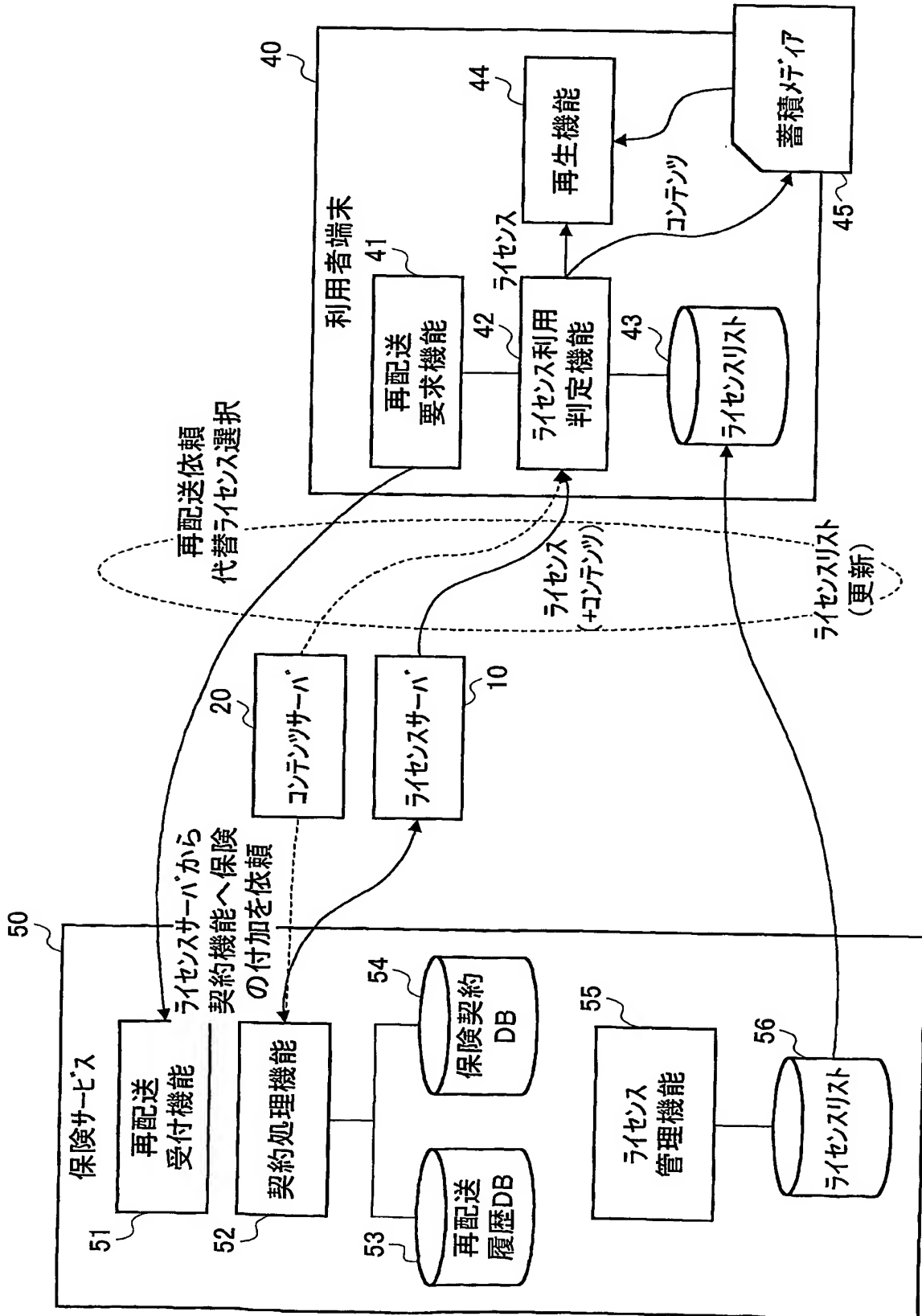


図11

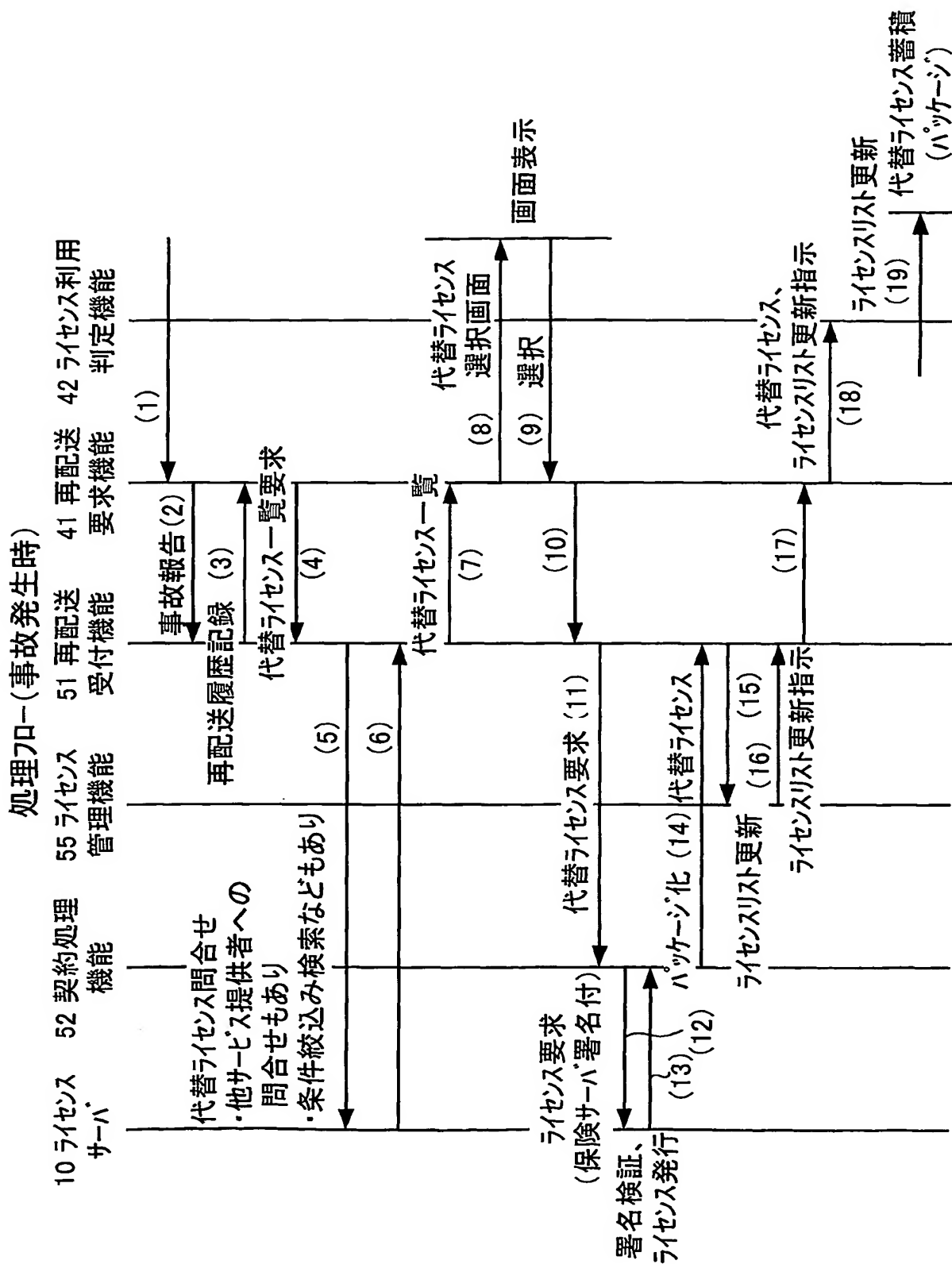


図12

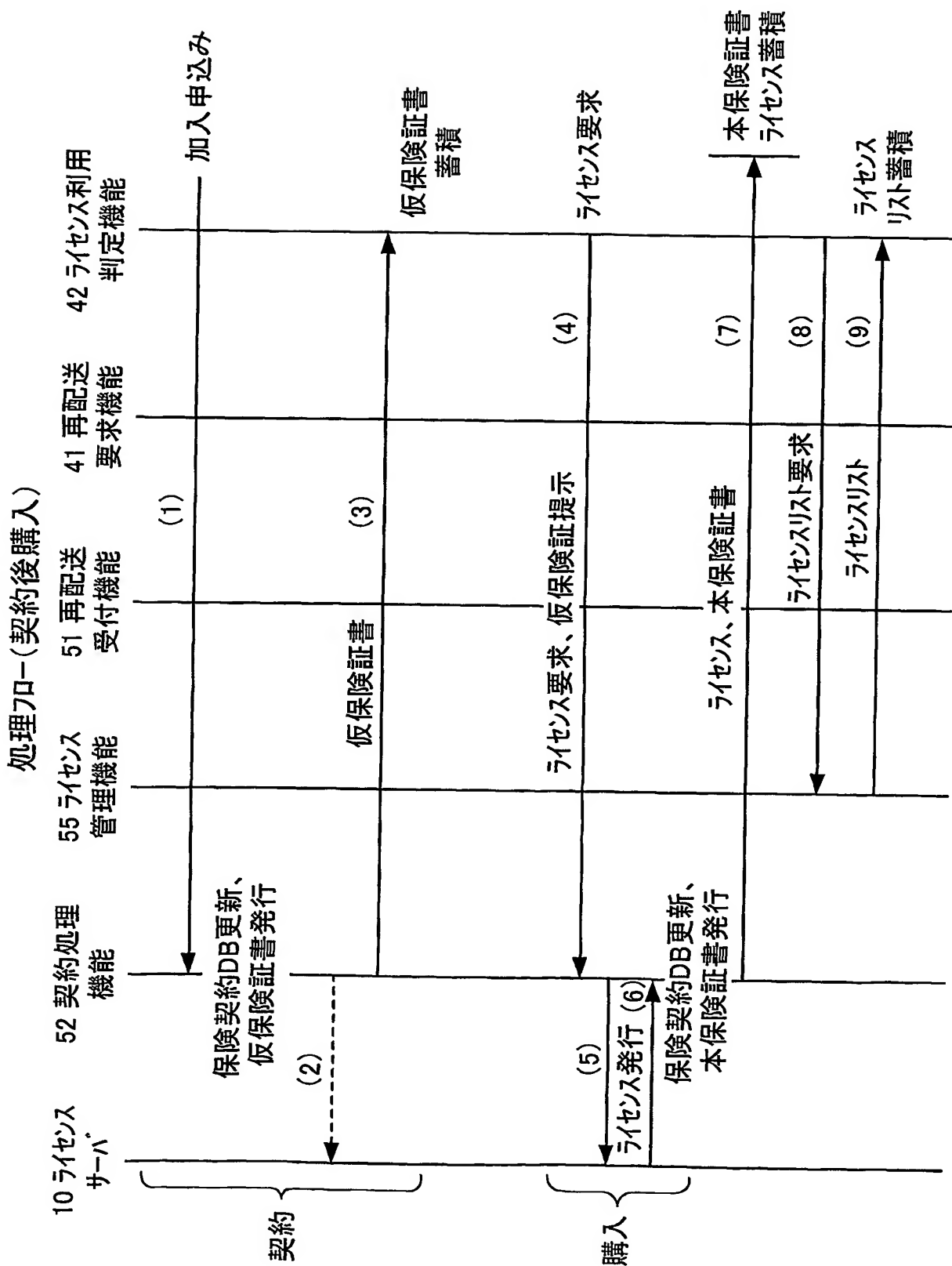


図13



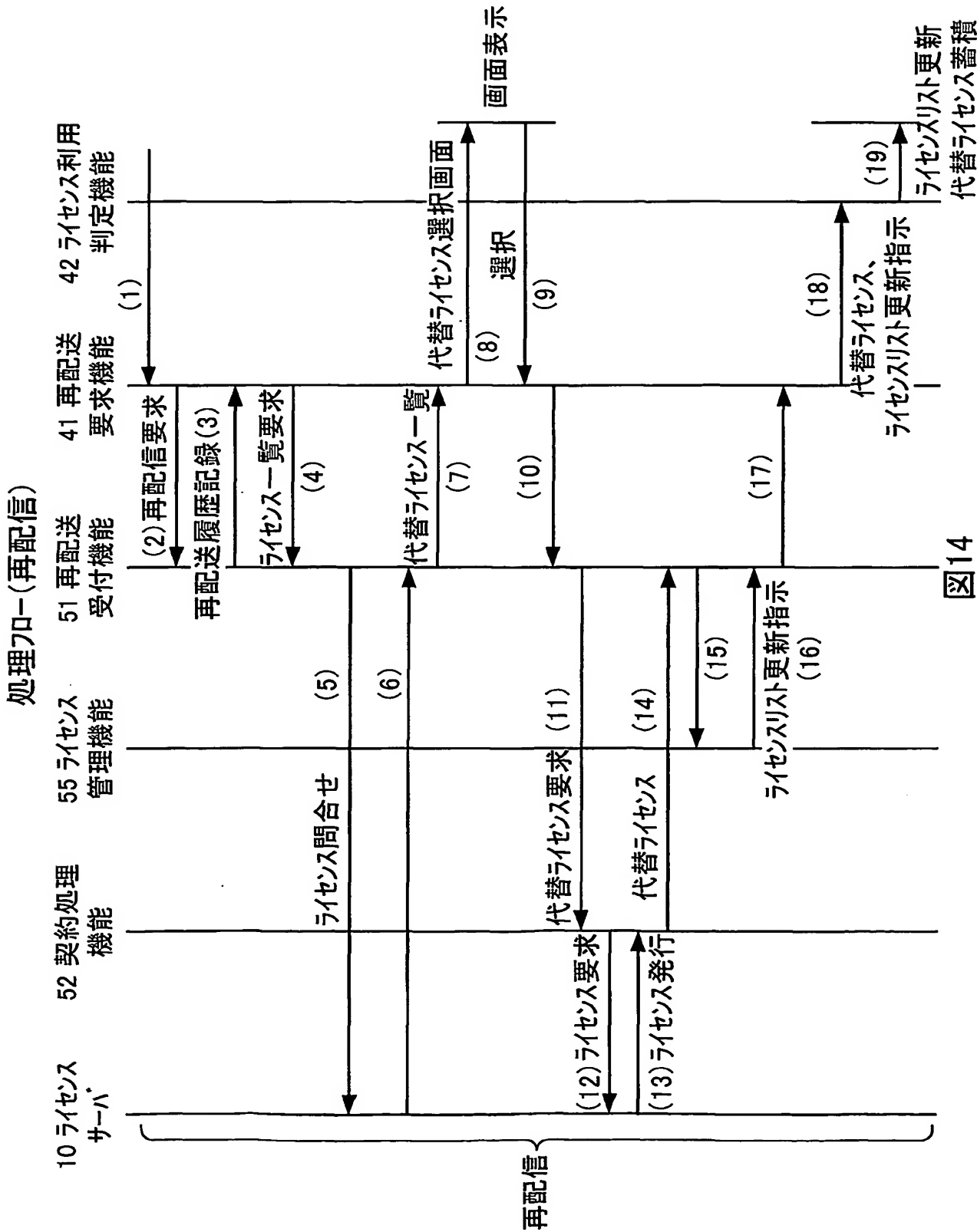


図14



ライセンスの内容 (XML記述した場合)

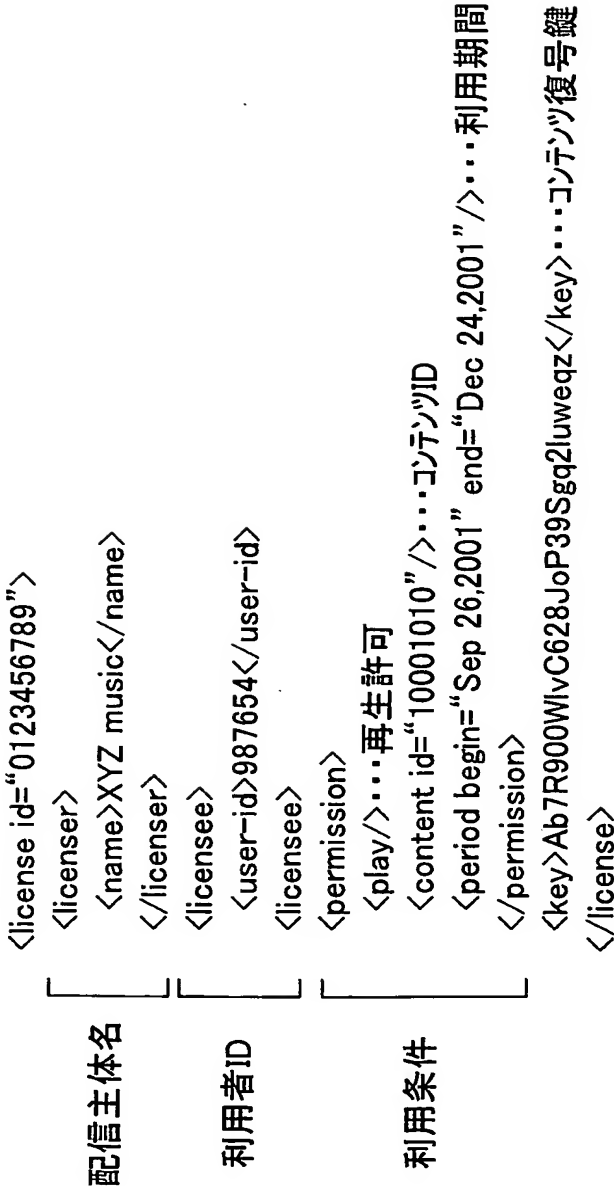


図16

## INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP02/05177

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER  
Int.Cl<sup>7</sup> G06F17/60

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

## B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int.Cl<sup>7</sup> G06F17/60, G06F15/00, G06F13/00; H04N7/16

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho 1922-1996 Toroku Jitsuyo Shinan Koho 1994-2002

Kokai Jitsuyo Shinan Koho 1971-2002 Jitsuyo Shinan Toroku Koho 1996-2002

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

## C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	WO 00/08909 A2 (International Business Machines Corp.), 24 February, 2000 (24.02.00), Pages 15, 28 to 31 & AU 5481899 A1 & EP 1104555 A2 & JP 2002-522995 A & US 6389538 B1	6, 8, 21, 38-41, 57
Y	EP 0935209 A2 (Hitachi, Ltd.), 11 August, 1999 (11.08.99), Par. Nos. [0008] to [0018] & JP 11-224288 A & SG 75914 A & US 6263318 B1	6, 8, 21, 38-41, 57
Y	JP 10-149283 A (Fujitsu Ltd.), 02 June, 1998 (02.06.98), Fig. 4 (Family: none)	6, 8, 21, 38-41, 57

☐ Further documents are listed in the continuation of Box C.☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:	"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance	"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
"E" earlier document but published on or after the international filing date	"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)	"&" document member of the same patent family
"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means	
"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed	

Date of the actual completion of the international search  
30 August, 2002 (30.08.02)Date of mailing of the international search report  
17 September, 2002 (17.09.02)Name and mailing address of the ISA/  
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

# INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP02/05177

Continuation of Box No.I-1 of continuation of first sheet(1)

The behavior of the 'server' cannot be distinguished from those by a person or legal entity though the claims state a nominal 'server'. No technical feature (i. e., feature as computation by the computer) can be found.

# INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP02/05177

## Box I Observations where certain claims were found unsearchable (Continuation of item 1 of first sheet)

This international search report has not been established in respect of certain claims under Article 17(2)(a) for the following reasons:

1. ☒ Claims Nos.: 1-5, 7, 9-20, 22-37, 42-56, 58-111

because they relate to subject matter not required to be searched by this Authority, namely:

The 'system' and 'program' defined in the aforementioned claims are substantially a policy or system of purchaser protection (insurance) which falls in the schemes of doing business (PCT Rule 39.1(iii)).  
(continued to extra sheet)

2. ☐ Claims Nos.:

because they relate to parts of the international application that do not comply with the prescribed requirements to such an extent that no meaningful international search can be carried out, specifically:

3. ☐ Claims Nos.:

because they are dependent claims and are not drafted in accordance with the second and third sentences of Rule 6.4(a).

## Box II Observations where unity of invention is lacking (Continuation of item 2 of first sheet)

This International Searching Authority found multiple inventions in this international application, as follows:

1. ☐ As all required additional search fees were timely paid by the applicant, this international search report covers all searchable claims.
2. ☐ As all searchable claims could be searched without effort justifying an additional fee, this Authority did not invite payment of any additional fee.
3. ☐ As only some of the required additional search fees were timely paid by the applicant, this international search report covers only those claims for which fees were paid, specifically claims Nos.:
4. ☐ No required additional search fees were timely paid by the applicant. Consequently, this international search report is restricted to the invention first mentioned in the claims; it is covered by claims Nos.:

Remark on Protest ☐ The additional search fees were accompanied by the applicant's protest.  
☐ No protest accompanied the payment of additional search fees.

## A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl.<sup>7</sup> G06F17/60

## B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl.<sup>7</sup> G06F17/60, G06F15/00, G06F13/00; H04N7/16

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1922-1996 年
日本国公開実用新案公報	1971-2002 年
日本国登録実用新案公報	1994-2002 年
日本国実用新案登録公報	1996-2002 年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

## C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	WO 00/08909 A2 (INTERNATIONAL BUSINESS MACHINES CORP.) 2000.02.24 15 ページ, 28-31 行 & AU 5481899 A1 & EP 1104555 A2 & JP 2002-522995 A & US 6389538 B1	6, 8, 21, 38-41, 57
Y	EP 0935209 A2 (HITACHI, LTD.) 1999.08.11 段落 0008-0018	6, 8, 21, 38-41, 57

☒ C 欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

## \* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの  
「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの  
「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)  
「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献  
「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの  
「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの  
「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の 1 以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの  
「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

30.08.02

国際調査報告の発送日

17.09.02

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/J P)  
郵便番号 100-8915  
東京都千代田区霞が関三丁目 4 番 3 号

特許庁審査官 (権限のある職員)

阿波 進



5 L

9 1 6 8

電話番号 03-3581-1101 内線 3561

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	& JP 11-224288 A & US 6263318 B1  JP 10-149283 A (富士通株式会社) 1998.06.02 図 4 (ファミリーなし)	6, 8, 21, 38-41, 57



## 第Ⅰ欄 請求の範囲の一部の調査ができないときの意見 (第1ページの2の続き)

法第8条第3項 (PCT17条(2)(a)) の規定により、この国際調査報告は次の理由により請求の範囲の一部について作成しなかった。

- 1-5, 7, 9-20, 22-37,
1. ☒ 請求の範囲 42-56, 58-111 は、この国際調査機関が調査をすることを要しない対象に係るものである。つまり、  
上記の請求項で規定されている「システム」「プログラム」は、実質的には、購入者保護 (の保険) のポリシーもしくは制度そのものであり、ビジネスのスキーム (PCT 規則 39.1(iii)) である。名目上「サーバ」と記されているが、それらの振る舞いは個人や法的エンティティそのものによるものと区別できない; そこには技術的な特徴 (すなわちコンピュータの演算としての特徴) がない。
2. ☐ 請求の範囲 \_\_\_\_\_ は、有意義な国際調査をすることができる程度まで所定の要件を満たしていない国際出願の部分に係るものである。つまり、
3. ☐ 請求の範囲 \_\_\_\_\_ は、従属請求の範囲であって PCT 規則 6.4(a) の第2文及び第3文の規定に従って記載されていない。

## 第Ⅱ欄 発明の単一性が欠如しているときの意見 (第1ページの3の続き)

次に述べるようにこの国際出願に二以上の発明があるとこの国際調査機関は認めた。

1. ☐ 出願人が必要な追加調査手数料をすべて期間内に納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求の範囲について作成した。
2. ☐ 追加調査手数料を要求するまでもなく、すべての調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追加調査手数料の納付を求めなかった。
3. ☐ 出願人が必要な追加調査手数料を一部のみしか期間内に納付しなかったため、この国際調査報告は、手数料の納付のあった次の請求の範囲のみについて作成した。
4. ☐ 出願人が必要な追加調査手数料を期間内に納付しなかったため、この国際調査報告は、請求の範囲の最初に記載されている発明に係る次の請求の範囲について作成した。

## 追加調査手数料の異議の申立てに関する注意

- ☐ 追加調査手数料の納付と共に出願人から異議申立てがあった。
- ☐ 追加調査手数料の納付と共に出願人から異議申立てがなかった。

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**